

平成28年度

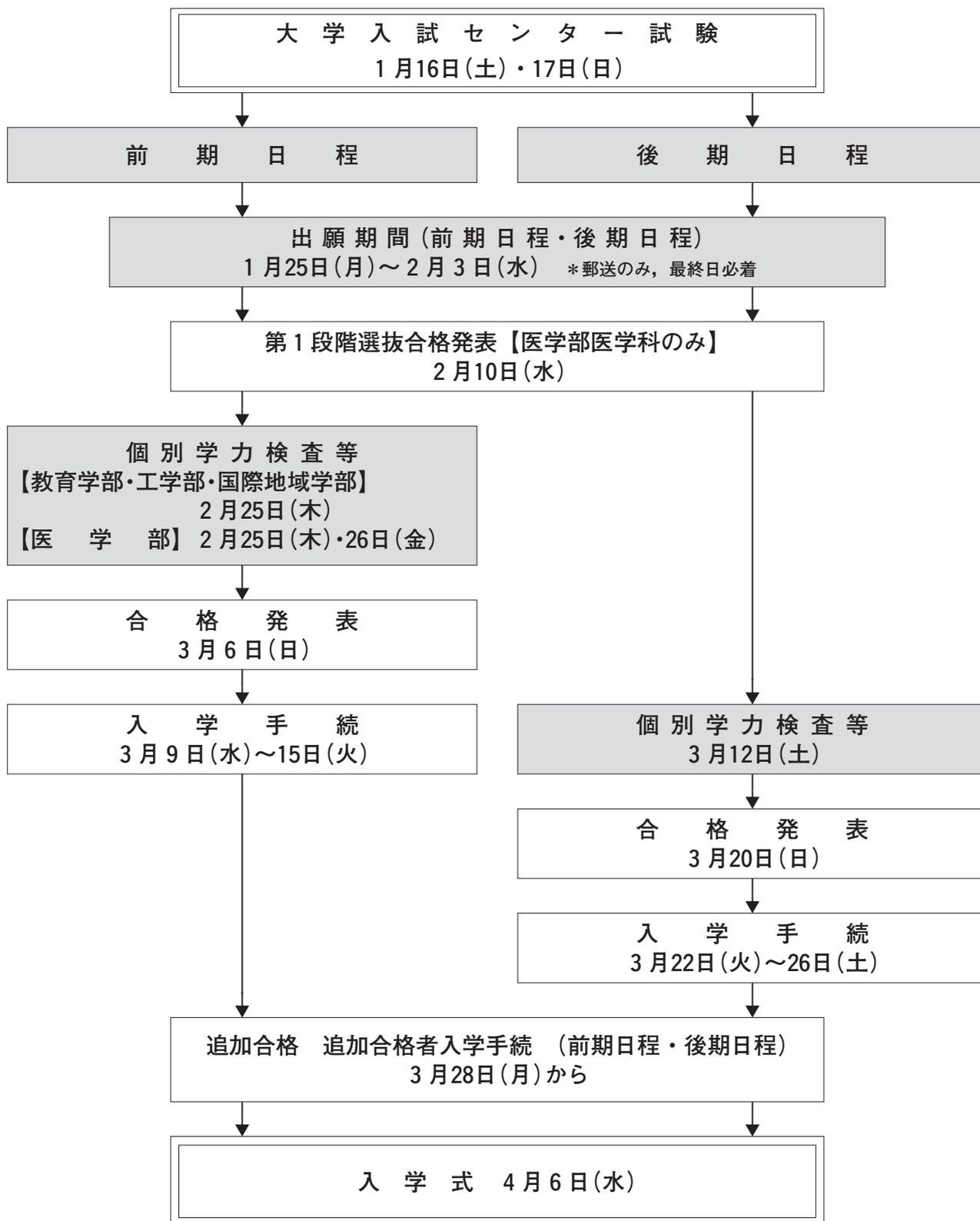
一般入試

前期日程・後期日程

学生募集要項

平成27年10月

平成28年度 福井大学入学者選抜（一般入試）日程の概要



<注意>

- ・本入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・この学生募集要項以外に重要な通知がある場合は、本学ホームページ「受験生の方へ」内でお知らせします。[福井大学ホームページ <http://www.u-fukui.ac.jp/>]
- ・電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9:00～17:00に、この学生募集要項を手元に置き、必ず志願者本人が行ってください。

目 次

はじめに

国際地域学部の設置，教育地域科学部 及び工学部の改組について…………… 1

I 共通事項

1. 入学定員及び募集人員…………… 2
(1) 教育学部学校教育課程の選抜方法等
(2) 工学部の所属コース等の決定
2. 入学者選抜方法等…………… 6
3. 出願資格…………… 6
4. 出願手続…………… 7
(1) 出願期間・方法
(2) 出願書類
(3) 検定料の振込方法
5. 試験場…………… 10
6. 試験当日等の注意事項…………… 11
7. 合格者発表…………… 11
8. 入学手続…………… 12
9. 欠員補充の方法…………… 13
(1) 追加合格
(2) 欠員補充第2次募集
10. 障害のある入学志願者等の事前相談…………… 13
11. 一般入試における個人成績の開示…………… 13
12. 個人情報の利用…………… 14
13. 受験時の宿泊について…………… 14

II 教育学部

1. アドミッション・ポリシー…………… 15
2. 個別学力検査等の日程…………… 17
3. 入学者選抜方法等…………… 17
4. 小論文，面接の内容（出題方針）等…………… 17
5. 実技検査内容（学校教育課程）…………… 18
6. 注意事項…………… 19
7. 入学者選抜の実施教科・科目等…………… 20

III 医学部

1. アドミッション・ポリシー…………… 25
2. 個別学力検査等の日程…………… 27
3. 入学者選抜方法等…………… 27
4. 注意事項…………… 27
5. 入学者選抜の実施教科・科目等…………… 28
6. 小論文，面接の内容（出題方針）等…………… 30

IV 工学部

1. アドミッション・ポリシー…………… 31
2. 個別学力検査等の日程…………… 33
3. 入学者選抜方法等…………… 33
4. 小論文，面接の内容（出題方針）等…………… 33
5. 注意事項…………… 33
6. 入学者選抜の実施教科・科目等…………… 34

V 国際地域学部

1. アドミッション・ポリシー…………… 39
2. 個別学力検査等の日程…………… 40
3. 入学者選抜方法等…………… 40
4. 小論文，面接の内容（出題方針）等…………… 40
5. 注意事項…………… 41
6. 入学者選抜の実施教科・科目等…………… 42

VI 福井大学案内

1. 目的及び使命…………… 45
2. 学部の紹介…………… 45
3. 入学時の諸経費…………… 48
4. 学生生活…………… 49

<参考資料>

- 平成27年度福井大学入学者状況…………… 51

VII 学生募集要項等の請求方法…………… 55

- 福井大学入学試験個人成績開示申込書…………… 57
福井大学キャンパス配置図…………… 59
福井大学位置図……………〔裏表紙〕

出願用封筒 一般入試（前期日程）出願書類一式（クリーム色）
一般入試（後期日程）出願書類一式（水色）

はじめに

1. 本要項中の教科・科目名等は、次のように略記しています。

国語→国
地理歴史→地歴，世界史A→世A，世界史B→世B，日本史A→日A，日本史B→日B，
現代社会→現社，倫理→倫，政治・経済→政経，（倫理，政治・経済）→倫・政経
数学①→数①，数学②→数②，数学→数，数学Ⅰ→数Ⅰ，数学Ⅱ→数Ⅱ，数学Ⅲ→数Ⅲ，
数学A→数A，数学B→数B，
簿記・会計→簿，情報関係基礎→情報
理科①（基礎を付した科目）→理①，理科②（基礎を付していない科目）→理②
外国語→外，英語→英，ドイツ語→独，フランス語→仏，中国語→中，韓国語→韓，
コミュニケーション英語Ⅰ→コ英Ⅰ，コミュニケーション英語Ⅱ→コ英Ⅱ，
コミュニケーション英語Ⅲ→コ英Ⅲ，
英語表現Ⅰ→英表Ⅰ，英語表現Ⅱ→英表Ⅱ

2. 平成28年度一般入試(前期日程・後期日程)における旧教育課程履修者に対する経過措置

- (1) 「新教育課程」とは、平成25年4月1日から適用された高等学校学習指導要領（平成21年文部科学省告示第34号）に基づく教育課程及び平成21年3月9日文部科学省告示第38号の特例により定められた教育課程をいいます。
- (2) 「旧教育課程」とは、従前の高等学校学習指導要領に基づく教育課程をいいます。
- (3) 「新教育課程履修者」とは、高等学校（特別支援学校の高等部並びに中等教育学校の後期課程を含む。）に平成25年4月に入学又は進級し、平成28年3月卒業見込みの者をいいます。
- (4) 「旧教育課程履修者」とは、前述の(3)「新教育課程履修者」以外の者をいいます。
- (5) 旧教育課程履修者は、本学各学部で課す大学入試センター試験の利用教科・科目「数学②」について、新教育課程により出題される教科・科目に、旧教育課程の「工業数理基礎」を加えた科目から選択することができます。ただし、「工業数理基礎」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。新教育課程履修者は「工業数理基礎」を選択することはできません。

国際地域学部の設置, 教育地域科学部及び工学部の改組について

福井大学では平成28年4月に国際地域学部の設置, 教育地域科学部及び工学部の改組を行います。下記のとおり, 今回の設置・改組に伴い, 関連する既存の課程, 学科, コースにおいて, 新設, 再編, 学生募集の停止を行います。

1. 設置・改組

設置・改組前(平成27年度)	定員	設置・改組後(平成28年度)	定員
(新設)		国際地域学部	
		国際地域学科	60名

教育地域科学部	160名	教育学部	100名
学校教育課程	100名	学校教育課程	100名
(教育実践科学コース)	(7名)	初等教育コース	(60名)
(臨床教育科学コース)	(8名)	(小学校教育サブコース)	
(障害児教育コース)	(10名)	(特別支援教育サブコース)	
(言語教育コース)	(20名)	中等教育コース	(40名)
(社会系教育コース)	(10名)	(人文社会教育サブコース)	
(理数教育コース)	(20名)	(理数・生活教育サブコース)	
(生活科学教育コース)	(10名)	(芸術・スポーツ教育サブコース)	
(芸術・保健体育教育コース)	(15名)	(募集停止)	
地域科学課程	60名		

工学部	525名	工学部	525名
機械工学科	75名	機械・システム工学科	155名
電気・電子工学科	64名	電気電子情報工学科	125名
情報・メディア工学科	65名	建築・都市環境工学科	60名
建築建設工学科	65名	物質・生命化学科	135名
材料開発工学科	75名	応用物理学科	50名
生物応用化学科	65名		
物理工学科	51名		
知能システム工学科	65名		

I 共通事項

1. 入学定員及び募集人員

学部	学科・課程・コース等		入学定員	募集人員													
				一般入試				特別入試				アドミッション・オフィス入試					
				前期日程		後期日程		推薦入試Ⅰ		推薦入試Ⅱ		私費外国人留学生		AO入試Ⅰ		AO入試Ⅱ	
				前期日程	後期日程	推薦入試Ⅰ	推薦入試Ⅱ	AO入試Ⅰ	AO入試Ⅱ	①	②	①	②				
教育学部	学校教育課程	言語教育	初等教育	10	5	初等・中等【統合型】	初等教育9・中等教育7	推薦入試Ⅰ	推薦入試Ⅱ	私費外国人留学生	AO入試Ⅰ	AO入試Ⅱ	①	②			
			中等教育	10	5										4	2	
		社会系教育	初等教育	6	3			16	2		1						
			中等教育	6	3							2			1		
		教育実践科学	初等教育	2	2			3	3								
		理数教育	初等教育	12	6			4	2								
			中等教育	12	6			4	2								
		生活科学教育	初等教育	4	3			2	技術科2		2	家庭科2					
			中等教育	4	1												
		音楽教育	初等教育	3	2			2	2								
			中等教育	3	1												
		美術教育	初等教育	3	3			2	2		2						
			中等教育														
		保健体育	初等教育	3	3			2	2								
中等教育																	
臨床教育科学・障害児教育	初等教育	5	7	6													
初等教育コース計		60	26	16	2	8	8										
中等教育コース計		40	22	7	4	7											
教育学部計		100	48	23	6	15	8										
					21												
医学部	医学科	110	55	25		30											
	看護学科	60	30	10	20												
	医学部計	170	85	35	20	30											
工学部	機械・システム工学科	155	75	68	推薦入試Ⅰ	推薦入試Ⅱ	私費外国人留学生	各学科若干名	5	4	3						
	電気電子情報工学科	125	68	42					5	10							
	建築・都市環境工学科	60	30	20					5	5							
	物質・生命化学科	135	95	30						10	若干名						
	応用物理学科	50	20	30							若干名	若干名					
	工学部計	525	288	190					15	32							
					47												
国際地域学部	国際地域学科	60	35	15		10	若干名										
合計		855	456	263	26	55	若干名	23	32								
					81			55									

注1. 教育学部前期日程、後期日程、推薦入試Ⅰ、推薦入試Ⅱ、AO入試Ⅰの選抜方法等については、次頁の「(1) 教育学部学校教育課程の選抜方法等」によるものとする。
 2. 教育学部、工学部、国際地域学部のAO入試・推薦入試の入学手続者数が募集人員に満たない場合は、一般入試(前期日程)からその不足分を補充します。

(1) 教育学部学校教育課程の選抜方法等

○募集人員, 志願方法, 選抜方法等

前期日程

選抜区分	コース	募集人員	選抜グループ及び選抜方法	
言語教育	初等教育コース	5名	10名	1. 初等教育コースの志願者は中等教育コースを第2志望とすることができ、中等教育コースの志願者は初等教育コースを第2志望とすることができます。 2. 初等教育コース, 中等教育コースの志願者を言語教育, 社会系教育, 理数教育, 生活科学教育, 音楽教育の選抜区分ごとに選抜を行い, 所定の募集人員に達するまで合格者を決定します。
	中等教育コース	5名		
社会系教育	初等教育コース	3名	6名	
	中等教育コース	3名		
理数教育	初等教育コース	6名	12名	
	中等教育コース	6名		
生活科学教育	初等教育コース	3名	4名	
	中等教育コース	1名		
音楽教育	初等教育コース	2名	3名	
	中等教育コース	1名		
教育実践科学	初等教育コース	2名	初等教育コースのみの志願とし, 教育実践科学, 臨床教育科学・障害児教育の選抜区分ごとに選抜を行い, 所定の募集人員に達するまで合格者を決定します。	
臨床教育科学・障害児教育	初等教育コース	5名		
美術教育	中等教育コース	3名	中等教育コースのみの志願とし, 美術教育, 保健体育の選抜区分ごとに選抜を行い, 所定の募集人員に達するまで合格者を決定します。	
保健体育	中等教育コース	3名		
学校教育課程 前期日程 計		48名		

後期日程

選抜区分	コース	募集人員	選抜グループ及び選抜方法	
初等・中等【統合型】	初等教育コース	9名	16名	1. 初等教育コースの志願者は中等教育コースを第2志望とすることができ、中等教育コースの志願者は初等教育コースを第2志望とすることができます。 2. 初等教育コース, 中等教育コースの志願者を初等・中等【統合型】の選抜区分で選抜を行い, 所定の募集人員に達するまで合格者を決定します。
		7名		
言語教育 社会系教育 教育実践科学 理数教育 生活科学教育	中等教育コース	7名		
臨床教育科学・障害児教育	初等教育コース	7名	初等教育コースのみの志願とし, 所定の募集人員に達するまで合格者を決定します。	
学校教育課程 後期日程 計		23名		

推薦入試Ⅰ

選抜区分	コース	募集人員	選抜グループ及び選抜方法	
保健体育	初等教育コース	2名	初等教育コースのみの志願とし, 所定の募集人員に達するまで合格者を決定します。	
生活科学教育(技術科)	中等教育コース	2名	中等教育コースのみの志願とし, 生活科学教育(技術科), 音楽教育の選抜区分ごとに選抜を行い, 所定の募集人員に達するまで合格者を決定します。	
音楽教育	中等教育コース	2名		
学校教育課程 推薦入試Ⅰ 計		6名		

推薦入試Ⅱ

選抜区分	コース	募集人員	選抜グループ及び選抜方法	
言語教育	初等教育コース	2名	4名	1. 初等教育コースの志願者は中等教育コースを第2志望とすることができ、中等教育コースの志願者は初等教育コースを第2志望とすることができます。 2. 初等教育コース, 中等教育コースの志願者を言語教育, 社会系教育, 理数教育の選抜区分ごとに選抜を行い, 所定の募集人員に達するまで合格者を決定します。
	中等教育コース	2名		
社会系教育	初等教育コース	1名	2名	
	中等教育コース	1名		
理数教育	初等教育コース	2名	4名	
	中等教育コース	2名		
教育実践科学	初等教育コース	3名	初等教育コースのみの志願とし, 所定の募集人員に達するまで合格者を決定します。	
生活科学教育(家庭科)	中等教育コース	2名	中等教育コースのみの志願とし, 所定の募集人員に達するまで合格者を決定します。	
学校教育課程 推薦入試Ⅱ 計		15名		

AO入試 I

選抜区分	コース	募集人員	選抜グループ及び選抜方法
美術教育	初等教育コース	2名	初等教育コースのみの志願とし、美術教育、臨床教育科学・障害児教育の選抜区分ごとに選抜を行い、所定の募集人員に達するまで合格者を決定します。
臨床教育科学・障害児教育	初等教育コース	6名	
学校教育課程 AO入試 I 計		8名	

○所属コース等の決定

前期日程、後期日程、推薦入試 I、推薦入試 II、AO入試 I では、所属するコース（初等教育コース、中等教育コース）を合格発表時に決定します。入学後のサブコースと選抜区分との関係は原則として下記のとおりです。

所属するサブコースは、2年次前期開始までに本人の希望と入学試験時の選抜区分及び入学後の成績等により決定します。

コース	所属サブコース	選抜区分				
		前期日程	後期日程	推薦入試 I	推薦入試 II	AO入試 I
初等教育コース	小学校教育サブコース	言語教育 社会系教育 教育実践科学 理数教育 生活科学教育 音楽教育	初等・中等 【統合型】 言語教育 社会系教育 教育実践科学 理数教育 生活科学教育	保健体育	言語教育 社会系教育 教育実践科学 理数教育	美術教育
	特別支援教育サブコース	臨床教育科学・ 障害児教育	臨床教育科学・ 障害児教育			臨床教育科学・ 障害児教育
中等教育コース	人文社会教育サブコース	言語教育 社会系教育	初等・中等 【統合型】 言語教育 社会系教育		言語教育 社会系教育	
	理数・生活教育サブコース	理数教育 生活科学教育	言語教育 社会系教育 教育実践科学 理数教育 生活科学教育	生活科学教育 (技術科)	理数教育 生活科学教育 (家庭科)	
	芸術・スポーツ教育サブコース	音楽教育 美術教育 保健体育		音楽教育		

(2) 工学部の所属コース等の決定

○所属コース等の決定

前期日程，後期日程，私費外国人留学生入試，AO入試Ⅰ，AO入試Ⅱでは，所属する学科（機械・システム工学科，電気電子情報工学科，建築・都市環境工学科，物質・生命化学科，応用物理学科）を合格発表時に決定します。所属するコースは，2年後期終了時まで本人の希望と入学後の成績等により決定します。各学科のコースは次のとおりです。

【工学部】

学 科	コース	コース配属時期等
機 械 ・ シ ス テ ム 工 学 科	機械工学コース	<p>応用物理学科を除く各学科のコース選択は2年後期終了時までに行い，その後各コースへの配属となります。</p> <p>なお，機械・システム工学科の原子力安全工学コースの学生は，コース配属の3年次から敦賀キャンパスにおいて教育を受ける予定です。</p>
	ロボティクスコース	
	原子力安全工学コース	
電 気 電 子 情 報 工 学 科	電子物性工学コース	
	電気通信システム工学コース	
	情報工学コース	
建 築 ・ 都 市 環 境 工 学 科	建築学コース	
	都市環境工学コース	
物 質 ・ 生 命 化 学 科	繊維・機能性材料工学コース	
	物質化学コース	
	バイオ・応用医工学コース	
応 用 物 理 学 科	※コース選択はありません	

2. 入学者選抜方法等

- (1) 本学の一般入試は、分離分割方式により前期日程試験と後期日程試験で実施します。前期日程及び後期日程からそれぞれ1つの募集区分に出願することができます。ただし、教育学部の一部においては、前期日程のみの募集となるものがありますので、注意してください。
- (2) 試験日程グループ間の併願については、「前期－前期」、「後期－後期」の組合せでの併願はできません。
- (3) 前期日程の大学・学部合格し、入学手続を完了した者は、後期日程の大学・学部を受験しても合格者とはなりません。
- (4) 他の国公立大学・学部の推薦入試及びAO入試の合格者は、本学の個別学力検査を受験しても合格者とはなりません。ただし、推薦入試及びAO入試を実施する大学・学部の定める手続きにより、入学の辞退を許可された場合は、この限りではありません。

3. 出願資格

本学の一般入試に出願をすることができる者は、次のいずれかに該当し、かつ該当する学部・学科等が指定する平成28年度大学入学者選抜大学入試センター試験（以下、「大学入試センター試験」という。）の教科・科目（教育学部：20～23ページ、医学部：28・29ページ、工学部：34～38ページ、国際地域学部：42・43ページを参照）をすべて受験した者とします。

- (1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。）若しくは中等教育学校を卒業した者又は平成28年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成28年3月31日までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、次のいずれかに該当する者又は平成28年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者若しくは平成28年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者若しくは平成28年3月31日までに修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は平成28年3月31日までに修了見込みの者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験の合格者又は平成28年3月31日までに合格見込みの者で平成28年3月31日までに18歳に達するもの（大学入学資格検定合格者を含む。）
 - ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成28年3月31日までに18歳に達するもの

注：ア. 出願資格の詳細は、平成28年度大学入試センター試験「受験案内」の「出願資格と証明書類」を参照してください。

イ. 出願資格（3）の⑥により出願を希望する者については、本学への出願前に個別の入学資格審査を行いますので、必要書類を添えて申請してください。個別の入学資格審査の詳細については、本学のホームページ（<http://www.u-fukui.ac.jp/>）「トップページ」→「受験生の方へ」内の入学資格審査を参照してください。

ウ. 出願資格に不明な点がある場合には、日程に十分余裕を持って出願前に本学学務部入試課へ文書により問い合わせてください。

4. 出願手続

(1) 出願期間・方法

平成28年1月25日(月)～2月3日(水) 17時必着

- ① 出願書類等は本学所定の封筒に入れ、本学学務部入試課へ郵送(書留速達)するものとし、出願手続期間内に必着とします。ただし、期限後に到着した出願書類等のうち、2月1日(月)までの発信局日付印のある書留速達郵便に限り受理します。持参による出願は認めません。
- ② 同一人が前期日程と後期日程に出願する場合や、出身学校経由で提出する場合であっても、出願書類をそれぞれ所定の封筒に入れたうえで、郵送してください。
- ③ 郵便局で交付される書留郵便受領証等は、受験票が届くまで大切に保管してください。
- ④ **出願書類到着の照会には応じません。**
- ⑤ 受験票が、教育学部・医学部看護学科・工学部・国際地域学部は2月5日(金)17時まで、医学部医学科は2月15日(月)17時までには到着しないときは、本学学務部入試課(電話 0776-27-9927)に問い合わせてください。なお、前期日程と後期日程の受験票は同じ日に到着しないことがあります。

(2) 出願書類

*印は本学所定の用紙及び封筒

	出願書類等	提出者	摘 要
*	入学志願票	全 員	入学志願票記入上の注意を参照のうえ、必ず自書してください。
*	受 験 票 写 真 票	全 員	縦4cm×横3cmの写真(正面向き、無帽、上半身、無背景で出願前3か月以内に撮影したもの)を各1枚貼付してください。
*	試 験 成 績 請 求 票	全 員	<p>志願学部・学科・課程・選抜区分・氏名を明記してください。</p> <p>試験成績請求票の指定の位置に、前期日程出願者は「平成28センター試験成績請求票 前 国公立前期日程用」を、後期日程出願者は「平成28センター試験成績請求票 後 国公立後期日程用」を必ず貼付してください。</p> <p>貼付する際には、成績請求票と出願する日程に誤りがないか確認し、しっかりとり付けしてください。</p> <p>なお、大学入試センター試験受験票又は成績請求票の再発行を受けた場合は、再発行された成績請求票を貼付してください。出願後にこれらの再発行を受けた場合は、速やかに本学学務部入試課に連絡してください。</p>
*	検定料振込 受付証明書	全 員	<p>17,000円と本学所定の振込依頼書を持参のうえ、最寄りの銀行等の窓口で納入し、納入時に金融機関から発行される「検定料振込受付証明書」に「振込受付日付印」が押印されていることを必ず確認し、入学志願票の所定の欄にしっかりとり付けしてください。</p> <p>なお、検定料振込期間は平成28年1月4日(月)～2月3日(水)です。詳細は、次の「(3) 検定料の振込方法」(9ページ)を参照してください。</p>
	調 査 書	全 員	<p>文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し、厳封したものを同封してください。</p> <p>高等学校卒業程度認定試験合格者(旧大学入学資格検定合格者を含む)は、調査書に代えて「合格証明書」及び「合格成績証明書」を提出してください。ただし、出身学校等において科目を修得したことにより受験科目を免除された場合については、出身学校等の調査書又は成績証明書を併せて提出してください。</p>

*	あて名票	全 員	合格通知先の郵便番号、住所、氏名等を記入してください。なお、出願後受信場所が変更となった場合は、速やかに連絡してください。
*	返信用封筒	全 員	受験票を送付する封筒です。志願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、362円分の切手を貼付してください。 なお、医学部医学科出願者には、第1段階選抜結果通知を併せて送付します。
	提 出 資 料	該 当 者	<p>前期日程の保健体育志願者は、出願時に次の資料をA4サイズの用紙にまとめて提出してください。</p> <p>① 競技歴リスト 出場した主な競技会等の競技歴リストを作成してください。書式は自由ですが、最近のものから順に期日、大会名、種目、成績、試合結果、役割（チーム競技の場合は先発、補欠、ポジション等）について明記し、主要な成績1つに◎印を付けてください。特に必要な場合は、中学時代の競技歴をつけ加えても構いません。</p> <p>② 競技歴を証明する資料 ①の競技歴リストを証明する資料を添付してください。ただし、◎印を含め3点以内とします。これらのコピー（片面）を3枚以内にまとめてください。証明する資料とは、賞状、大会プログラム、メンバー表、段位認定証、ランキング表、新聞や雑誌の切り抜き等です。正確に判読できる範囲であれば縮小・拡大しても構いません。資料は重ねて貼り付けないでください。</p>
*	出願用封筒	全 員	両面の必要事項をすべて自書し、書留速達で郵送してください。

注 意 事 項

- ① 指導要録等の保存期間が経過した者、又は廃校・被災その他の事情により調査書が得られない者は、次によって提出してください。
 - ア. 卒業後5年を経過した場合
原則として「卒業証明書」及び「単位修得証明書」、又は「学籍の記録及び修得単位の記録のみを証明した調査書」を提出してください。
 - イ. 卒業後20年を経過した場合
「卒業証明書」及び「指導要録が法令に定める保存年限を経過し、廃棄済みであるため調査書を発行できない旨の文書」を提出してください。
なお、成績通信簿の写し（受験者本人が保管している場合）等入学志願者が提出できる書類をもって調査書に代えることができます。
 - ウ. 廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合
上記イと同じ。なお、これらの書類も提出できない場合は、出身高等学校を所管する教育委員会、知事又は出身高等学校長が作成したこれに関する証明書を提出してください。
※いずれの証明書が発行可能かについては、卒業した高等学校に問い合わせ願います。
- ② 文字は黒のインク又は黒のボールペン書き（消せるボールペンは使用不可）とし、かい書で正確に記入してください。数字は算用数字を用いてください。
- ③ 記載事項を訂正したときは、誤記部分を2本線で抹消し訂正印を押してください。修正液類の使用や紙面の削り取り等はしないでください。
- ④ 出願書類等の受理後は、どのような事情があっても出願書類の返還、並びに記載事項の変更は認められません。
- ⑤ 出願書類等に不備がある場合は、受理できないことがあるので、十分注意してください。
- ⑥ 出願書類等の記載が事実と相違した場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

- ⑦ 本学が指定した平成28年度大学入試センター試験の教科・科目を一部でも受験していない者は出願無資格者として失格となるので、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって必ず本人の責任で確認してください（本学は出願期間終了後に大学入試センターからのデータに基づいてのみ、この確認を行います）。なお、出願無資格者であることが判明した者は、本学の個別学力検査を受験することができません。

(3) 検定料の振込方法

- ① 検定料 17,000円
- ② 振込期間 平成28年1月4日(月)～2月3日(水) *出願期間とは異なります。
ただし、出願は郵送に限り、2月3日(水)17時本学必着であることに特に注意して早めに振り込んでください。
- ③ 振込場所 本学所定の振込依頼書（前期日程は赤印字，後期日程は青印字）により，最寄りの銀行等の窓口で振り込んでください。振込みには別途手数料が必要です。
（ゆうちょ銀行・郵便局の場合は窓口にて口座からの振り込みのみ可能。）
※ATM，インターネット，コンビニエンスストアからは振り込まないでください。
- ④ 振り込みに際しての留意事項
ア. 「振込依頼書（三連）」の依頼人の欄に志願者（本人）の氏名（漢字，フリガナ），住所等の必要事項を黒又は青のボールペン（消せるボールペンは使用不可）で正確に記入してください。
イ. 「検定料振込受付証明書」を受付窓口から受け取る際には，必ず銀行等の振込受付日付印があるかを確認してください。
ウ. 領収証書は発行しませんので，金融機関発行の「振込受取書」は大切に保管してください。また，この用紙を「検定料振込受付証明書」の代わりに入学志願票に貼り付けしないでください。
エ. 振込手数料は，志願者本人の負担です。
- ⑤ 出願に際しての留意事項
ア. 入学志願票に検定料振込依頼済みの「検定料振込受付証明書」を貼り付けた後に，入学志願票の記入誤り等に気づき，やむを得ず新しい入学志願票に書き換えなければならない場合は，振込済みの「検定料振込受付証明書」を入学志願票ごと切り取って，新しい入学志願票の所定の欄に貼り付けてください。検定料は二重に振り込まないでください。
イ. 検定料が振り込まれていない場合又は金融機関発行の「検定料振込受付証明書」が入学志願票の所定の欄に貼り付けられていない場合は出願を受理しません。
- ⑥ 検定料返還に関する留意事項
出願書類を受理した後は，次の場合を除き，いかなる理由があっても振込済みの検定料は返還しません。該当者は，速やかに本学学務部入試課に問い合わせてください。
ア. 検定料の全額返還請求ができる者
○ 検定料振込後，出願書類等を提出しなかった者又は出願が受理されなかった者
○ 検定料を誤って二重に振り込んだ者
イ. 検定料の一部（13,000円）返還請求ができる者
○ 医学部医学科の第1段階選抜で不合格となった者
○ 出願受付後に大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した者
ウ. 検定料の返還請求の方法
アの場合
①返還請求の理由，②志願者氏名・フリガナ（自署・押印），③現住所，④連絡先電話番号，⑤志望学部・学科・課程，⑥自己受取用の銀行名，支店名，預金種別，口座番号，口座名義（フリ

ガナ：志願者本人名義）を明記した検定料返還請求願（①～⑥が明記されていれば、特に様式は問いません）を作成し、必ず振込受付日付印のある「検定料振込受付証明書」を添付してください。

この場合

関係書類を送付しますので、その指示に従って請求してください。

返還請求期限 平成28年3月31日(木) 17時必着

請求（送付）先

学 部	請求先（送付先）
【教育学部・工学部・国際地域学部】 文京キャンパス	〒910-8507 福井県福井市文京3-9-1 福井大学学務部入試課 電話 0776-27-9927
【医学部】 松岡キャンパス	〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3 福井大学学務部松岡キャンパス学務室入学試験係 電話 0776-61-8246

5. 試 験 場

学 部	前 期 日 程	後 期 日 程
教 育 学 部	文京キャンパス	文京キャンパス
医 学 部	松岡キャンパス	松岡キャンパス
工 学 部	文京キャンパス又は 京都試験場、名古屋試験場	文京キャンパス
国際地域学部	文京キャンパス	文京キャンパス

◎工学部においては、「前期日程」のみ京都試験場、名古屋試験場を設けます。

京都試験場：駿台予備学校京都南校

〒601-8411 京都市南区西九条北ノ内町13-1

（JR・近鉄・地下鉄烏丸線「京都」下車（八条口）から徒歩5分）

名古屋試験場：愛知県産業労働センター「ウインクあいち」

〒450-0002 愛知県名古屋市市中村区名駅4-4-38

（JR名古屋駅「桜通口」からミッドランドスクエア方面 徒歩5分）

- ① 工学部前期日程の志願者は、全員「入学志願票」の「受験希望試験場」欄に○印を記入してください。
- ② 京都試験場、名古屋試験場の収容数には限りがあります。京都試験場、名古屋試験場での受験許可者は、先着順で決定し、受験票と試験場案内図等により通知します。
試験場借用先（駿台予備学校京都南校、ウインクあいち）への照会・連絡は一切しないでください。
- ③ 志願学部に関係なく指定された試験場以外では、いかなる理由があっても受験できません。

(1) 各試験場への交通手段について

一般入試における各試験場への入構は、公共交通機関を利用してください（裏表紙参照）。

(2) 留意点

- ・文京キャンパス試験場へは、試験当日、事前に許可された者（身体に障害のある受験者等）以外の受験者は、自動車では入構できないので、公共交通機関を利用してください。また、周辺地域の交通渋滞防止の観点から、自家用車による送迎はご遠慮願います。なお、周辺民有地への不法駐車はしないでください。
- ・試験当日、松岡キャンパス試験場への自動車での入構はご遠慮ください。やむを得ず自動車での入構する場合は、受験者用駐車場（巻末の配置図を参照）に駐車してください。
- ・京都試験場、名古屋試験場は、駐車場がありません。公共交通機関を利用してください。

6. 試験当日等の注意事項

- (1) 試験場の下見は、前期日程は2月24日(水)の14時から17時まで、後期日程は3月11日(金)の14時から17時までの時間内に行うことができます。ただし、建物内への入場はできません。案内図は、それぞれのキャンパスに設置します。
京都試験場、名古屋試験場は当日のみ借用するので、建物外観以外の下見はできません。
- (2) 試験当日は、**大学入試センター試験受験票及び本学の受験票を必ず持参**し、試験室では机の上に置いてください。なお、受験票を忘失・紛失(又は破損)した場合には、係員に申し出て再発行などの措置を受けてください。
- (3) 「**受験票**」の右欄に印刷された「**受験上の注意事項**」を必ず読んでおいてください。
- (4) 試験当日は、最初に受験する科目の試験開始時刻の20分前までに試験室に入室してください。受験者控室は8時に開錠します。
- (5) 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻から30分以内の遅刻に限り、受験を認めますので、係員の指示に従ってください。ただし、受験が認められた場合でも、試験時間の延長は認めません。
- (6) 試験場への経路、交通機関、運行状況等は各自で事前に十分確認し、余裕をもって試験場に来てください。
- (7) 試験開始から試験終了までは、試験室からの退室を認めません。試験時間中に体調不良となった場合やトイレ等やむを得ない場合には、自席で手を挙げて監督者の指示に従ってください。ただし、一時退室が認められた場合でも、休養室などでの受験はできません。また、一時退室した分の試験時間の延長も認められません。
- (8) 試験時間中は監督者の指示に従ってください。従わない場合は退室させることがあります。
- (9) 試験時間中に監督者が写真票により受験者の確認を行います。マスクを着用している場合は、不正防止のため、一時的に外すよう監督者が指示することがあります。
- (10) 時計は、辞書・電卓・端末等の機能があるもの、秒針音のするもの、大型のものは使用できません。また、携帯電話、スマートフォン等を時計代わりに使用することはできません。
- (11) 携帯電話、スマートフォン等の電子機器類や音の出る機器は、試験会場に入る前に電源を切って、教科書・参考書と一緒にかばん等に必ず入れてください。試験監督者からの携帯電話、スマートフォン等の電子機器類に関する注意や指示に従ってください。指示に従わない場合は、不正行為とみなすことがありますので、留意してください。
- (12) 昼食が必要な者は必ず持参し、休憩時間中に試験室内等で適宜食事をしてください。

7. 合格者発表

前期日程 平成28年3月6日(日) 10時

後期日程 平成28年3月20日(日) 10時

場 所 文京キャンパス 学生支援センター前 (全学部)
松岡キャンパス 管理棟前掲示板 (医学部)

- (1) 合格者の発表は、上記掲示場(巻末の配置図を参照)及び本学ホームページ(<http://www.u-fukui.ac.jp/>)「トップページ」→「受験生の方へ」内の**入試情報一覧**に合格者(受験番号)を掲載するとともに、合格通知書及び入学手続関係書類を速達郵便で送付します。不合格者への通知は行いません。電話等による照会には一切応じません。
- (2) 医学部医学科の2段階選抜の第1段階選抜可否は、前期日程、後期日程ともに平成28年2月10日(水)に、志願者全員に第1段階選抜結果通知書を速達郵便で送付します。その際、合格者には受験票等を同封します。

注：試験当日等に、JR福井駅や試験場周辺で合否電話やメール等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係ないので、十分注意してください。

8. 入学手続

合格者には合格通知書とともに「入学手続要項」等を送付しますので、下記期間内に郵送により入学手続を行ってください。入学手続期間内に所定の入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものと取り扱います。入学手続時には、「大学入試センター試験受験票」が必要となります。

(1) 入学手続期間

前期日程 平成28年3月9日(水)～15日(火) 17時必着

後期日程 平成28年3月22日(火)～26日(土) 17時必着

(2) 入学手続方法

- ① 入学手続書類等は本学所定の封筒に入れ、下記(3)入学手続書類等の送付先へ郵送(書留速達)するものとし、入学手続期間内に必着とします。
- ② 入学手続方法は郵送に限るものとする。期限後に到着したものは、いかなる理由があっても一切受理しないので郵便事情等を考えて早めに送付してください(期間前到着は可、持参提出は不可)。やむを得ない事情により期間内に郵送で入学手続(必着)ができない場合は、必ず事前に電話(学務部入試課 0776-27-9927)で連絡してください。その後の入学手続は本学の指示に従ってください。

(3) 入学手続書類等の送付先

学 部	送 付 先
【教育学部・工学部・国際地域学部】 文京キャンパス	〒910-8507 福井県福井市文京3-9-1 福井大学学務部入試課 電話 0776-27-9927
【医学部】 松岡キャンパス	〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3 福井大学学務部松岡キャンパス学務室入学試験係 電話 0776-61-8246

(4) 入学手続時に要する経費

- ① 入学料 282,000円(予定額)
- ② 授業料 前期 267,900円 【年額535,800円】(予定額)

注：ア. 入学時又は在学中に入学料・授業料改定が行われた場合には、改定時から改定後の額が適用されます。

イ. 入学料・授業料の納入方法は、合格者に送付する「入学手続要項」で通知します。

ウ. 納入された入学料は、返還しません。

(5) 留意事項

- ① 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、本学への入学の意思がなく入学を辞退したものと取り扱います。
- ② 他の国公立大学(独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除きます。)に入学手続を行った者は、これを辞退して、本学に入学手続を行うことはできません。また、本学に入学手続を完了した者は、これを辞退して他の国公立大学(独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除きます。)に入学手続を行うことはできません。
- ③ 「前期日程」に合格し、平成28年3月15日(火)までに入学手続を行った者は、「後期日程」を受験してもその合格者とはなりません。

(6) 入学料免除・徴収猶予と授業料免除

入学料・授業料の納入が著しく困難な者には、入学料免除・徴収猶予、授業料免除制度があります(48ページを参照)。希望者は、合格通知書送付時に同封する入学手続要項及び入学料免除・徴収猶予、授業料免除に関する通知を熟読し、入学料・授業料を振り込まずに所定の申請をしてください。

9. 欠員補充の方法

(1) 追加合格

入学手続完了者が定員に達しない場合は、本学個別学力検査(前期日程・後期日程)を受験し合格者とならなかった者の中から、平成28年3月28日(月)以降に合格者を追加します。この場合、追加合格者には、入学志願票の「志願者連絡先」の電話番号に連絡するので十分留意してください。追加合格に係る入学手続は、該当者に直接指示します。

ただし、他の国公立大学に入学手続を完了した者は、それを取り消して本学の追加合格者として入学手続を行うことはできません。

(2) 欠員補充第2次募集

追加合格によっても、なお入学定員に欠員が生じた場合には、教育学部・工学部・国際地域学部では、欠員補充第2次募集を行うことがあります。なお、欠員補充第2次募集を行う場合は、3月末に公表しますが、この募集に出願できるのは、一つの大学・学部に限ります。

10. 障害のある入学志願者等の事前相談

本学入学志願者で、疾病・負傷や身体障害等のために、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、平成28年1月19日(火)までに本学学務部入試課又は松岡キャンパス学務室に事前相談の申請をしてください。また、期限後にやむを得ない事情等により申請が必要となった場合には、速やかに電話等により相談してください。

事前相談の申請方法等については、本学ホームページ(<http://www.u-fukui.ac.jp/>)「トップページ」→「受験生の方へ」内の入学前事前相談から確認してください。

11. 一般入試における個人成績の開示

一般入試の個人成績開示を希望する者は、次により申し込んでください。ただし、個別学力検査等の一部でも受験していない者及び医学部医学科第1段階選抜不合格者については、開示を行いません。

開示成績：平成28年度福井大学一般入試個人成績

申込期間：平成28年5月2日(月)～6月30日(木)必着

申込方法：① 受験者本人に限ります。(代理人は不可)

② 「福井大学入学試験個人成績開示申込書」, 「本学受験票」(コピー不可)及び「返信用封筒」(長形3号:切手512円分貼付)を申込期間内に郵送又は持参してください。

※成績開示申込書は、「一般入試学生募集要項」巻末、又はホームページからダウンロードしたものを利用してください。

申 込 先：【教育学部・工学部・国際地域学部受験者】

〒910-8507 福井県福井市文京3-9-1

福井大学学務部入試課

【医学部受験者】

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3

福井大学学務部松岡キャンパス学務室入学試験係

開示方法：受験者本人あて書留郵便で送付（受験票も返却）します。（申込み後1ヶ月～1ヶ月半程度）

開示内容：得点と順位の位置を、次のとおり文書で通知します。

- ・得点
 - 【教育学部】総得点，大学入試センター試験の科目別得点，個別学力検査の総得点
 - 【医学部】合格者は，総得点，大学入試センター試験の科目別得点，個別学力検査の総得点，不合格者は，ランクのみ通知
(医学科の第1段階選抜不合格者の開示は行いません。)
 - 【工学部】総得点，大学入試センター試験及び個別学力検査の科目別得点
 - 【国際地域学部】総得点，大学入試センター試験の科目別得点，個別学力検査の総得点
- ・順位の位置 10段階ランク（合格者，不合格者，各5ランク）上の位置

12. 個人情報の利用

出願書類等に記載された個人情報（成績判定に関する情報を含む）は，①入学試験の実施，②入学手続，奨学金等の制度の運用，③入学者の受入準備，④入試の改善や志願動向等の調査に使用する目的をもって福井大学が管理します。この目的の範囲内で福井大学の教職員が利用する場合及び本人の同意を得た場合のほかは，次に掲げる場合を除き，原則として，他の目的で利用又は福井大学の教職員以外に提供することはありません。

- 1) 捜査機関が捜査上必要とした場合等，行政機関等が法令に定める業務等を行うに必要な限度で利用することについて相当の理由があるときに，当該行政機関に個人情報を提供する場合
- 2) 提出された出願書類等の個人情報を電算処理する場合で，当該電算処理に係る業務を外部の業者等に行わせるために当該業者に対する個人情報の提供が必要となった場合（なお，この場合には，当該業者に対して個人情報保護法の趣旨に則った保護管理の業務を契約により課すこととなります。）
- 3) 提出された出願書類等の個人情報を，当該本人の権利利益を不当に侵害するおそれがない場合で，学術研究の目的のために提供する場合
- 4) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため，合否及び入学手続き等に関する個人情報（氏名及び大学入試センターの受験番号に限る）を，独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に情報提供する場合

13. 受験時の宿泊について

本学の受験に際し，宿泊を必要とする方は，各自でホテル・旅館を予約してください。

なお，ホテル・旅館に関するお問い合わせは，下記にお願いします。

<福井市旅館業協同組合 事務局>

〒910-0005 福井県福井市大手3-7-1 福井県織協ビル7階

営業時間帯 月～金，9時～17時 電話 0776-22-7449

F A X 0776-22-7874

ホームページ <http://www1a.biglobe.ne.jp/fukuryo/>

Ⅱ 教育学部

1. アドミッション・ポリシー

(1) 教育理念

学校教育の様々な課題に対して高い専門性をもって積極的に取り組む人を育てる学部、それが教育学部です。本学部には、小学校、特別支援学校、幼稚園などの教員を養成する「初等教育コース」と中学校、高等学校などの教員を養成する「中等教育コース」の2つのコースがあります。それぞれのコースでは、教科・領域の専門性を横断的、系統的に身につけ、学習者の成長や学習に対する専門的理解を深め、地域と連携できる能力を備えた教員の養成を通じて広く社会の発展に寄与することを目指しています。

(2) 求める学生像

1. 高等学校などで身につけた基礎学力の上に立って、主体的・協働的に学ぶことができる人
2. 人間の教育や心理に興味を持ち、初等・中等教育における各教科の教育に強い関心を抱いている人
3. 子どもの成長を支えられる豊かな人間性と優れたコミュニケーション能力を有している人
4. 教育への情熱や探究心を持ち、学校を中心とする地域・社会の諸課題に積極的に取り組んでいこうとする人

(3) 入学者選抜の基本方針

【一般入試（前期日程）】

基礎学力を総合的に判定するために、大学入試センター試験を課します。さらに、選抜区分に応じた教科・科目の学力を重視した学力検査を実施し、専門分野の学習に必要な知識・能力を評価します。また、音楽教育・美術教育・保健体育の選抜では、実技検査及び面接（口述試験を含む）を実施し、専門分野の学習に必要な知識・技能及び意欲を評価します。なお、保健体育の選抜では、面接は実施しません。

【一般入試（後期日程）】

基礎学力を総合的に判定するために、大学入試センター試験を課します。さらに、教育、文化、科学・技術、人間の発達に関わる課題を扱った小論文を課し、専門分野の学習に必要な論理的思考力や表現力を評価します。

【推薦入試Ⅰ】（大学入試センター試験を課さない）

○生活科学教育（技術科）

大学入試センター試験は免除し、書類審査、小論文、面接（口述試験を含む）により、技術科で学ぶための基礎的学力と技術教育への興味・関心、及び適性を評価します。

○音楽教育

大学入試センター試験は免除し、面接と実技試験を課します。書類審査を含む面接では、音楽及び音楽教育に対する理解や意欲について判定を行います。実技試験では表現の技能及び音楽性を選択課題となるピアノと声楽の実技により判定を行います。

○保健体育

大学入試センター試験は免除し、保健体育の学習指導の基礎となる学力および実技能力について判定します。論理的思考力や表現力等については集団面接と個人面接で評価します。また個人面接では、実技能力に関して提出書類の競技歴や調査書等の内容の確認を行うとともに目的意識と意欲の判定を行います。

【推薦入試Ⅱ】(大学入試センター試験を課す)

○言語教育

大学入試センター試験での得点に加えて、調査書等に基づいて面接し、目的意識や意欲、思考力、表現力等を判定します。また、これまでの言語文化活動、芸術活動についても評価します。

○社会系教育

基礎学力を総合的に判定するために、大学入試センター試験を課します。さらに、社会系教育を学ぶために必要な意欲、資質、適性等を重視した内容の面接（面接用資料作成を課すことがある）を実施し、専門分野の学習に必要な能力を評価します。

○教育実践科学

大学入試センター試験により基礎学力を把握するとともに、面接により、教育の現代的課題に関する問題意識、論理的な思考力・表現力、そして資質・意欲等を把握し、総合的に判定を行います。

○理数教育

基礎学力を総合的に判定するために、大学入試センター試験を課します。さらに、理数教育を学ぶ学生に求められる意欲・資質・適性などをみるために面接を課し、学習に必要な能力を評価します。

○生活科学教育（家庭科）

大学入試センター試験により基礎学力を総合的に判定し、調査書、推薦書、志願理由書及び面接によって、家庭科の専門分野の学習に必要な論理的思考力や適性を評価します。

【AO入試Ⅰ】(大学入試センター試験を課さない)

○美術教育

大学入試センター試験は免除し、第1次選考では、基礎的な学力と実技の能力を、提出書類、及びデッサンによって判定します。最終選考では、造形感覚考査、提出作品、課題レポート、面接により、専門領域における実技能力、表現力、文章力、学ぶことに対する意欲、協調性等を中心に第1次選考の結果と併せて判定を行います。

○臨床教育科学・障害児教育

大学入試センター試験は免除し、第1次選考では、書類審査、小論文、面接により、また最終選考ではプレゼンテーション試験により、臨床教育科学・障害児教育を学ぶための基礎的学力とこれらの専門領域への興味・関心、適性を評価します。

2. 個別学力検査等の日程

日 程	課程・コース	試 験 科 目 等	試 験 時 間	備 考
前期日程	学校教育課程 初等教育コース 中等教育コース	数 学 (110分)	9:20~11:10	
		国 語 (100分)	12:20~14:00	
		外 国 語 (100分) (英語)	14:40~16:20	
		地理歴史・公民 (100分) (世界史, 日本史, 地理, 政治・経済)	17:00~18:40	出願時に1科目を選択
	学校教育課程 初等教育コース 中等教育コース	実技・面接 (音楽教育)	9:20~	
		実技 面接 (美術教育)	9:20~12:20 13:20~	
実技 (保健体育)		9:20~		
後期日程	学校教育課程 初等教育コース 中等教育コース	小論文 (120分)	9:30~11:30	

受験上の注意事項：

- ア. 試験室には、受験する科目の試験開始時刻の20分前までに入室してください。
ただし、保健体育の選抜区分での志願者は8:30に集合してください。
- イ. 試験開始に遅刻した場合は、試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- ウ. 本学が課す試験を一部でも受験しなかった場合は、失格となります。
- エ. 前期日程における出願時に選択した教科・科目以外での受験はできません。

3. 入学者選抜方法等

- (1) 大学入試センター試験並びに個別学力検査等及び調査書を総合して選抜します。
- (2) 前期日程、後期日程とも2段階選抜は実施しません。
- (3) 大学入試センター試験の利用教科・科目名、個別学力検査等の教科・科目名及びその配点については、「7.入学者選抜の実施教科・科目等」(20~23ページ)を参照してください。
- (4) 小論文、面接、実技検査の内容等については、次項及び18ページを参照してください。
- (5) 大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の科目の得点が本学の定める基準に達していない場合は、募集人員内でも合格とならないことがあります。

4. 小論文、面接の内容 (出題方針) 等

日程	課程	コース・選抜区分	区 分	小論文、面接の内容 (出題方針) 等
前期日程	学校教育課程	初等教育コース・中等教育コース	音楽教育 面接	個人面接 音楽や音楽教育に関する興味、意欲等 音楽に関する基礎的な知識 これまでの学習歴 (音楽実技を中心に) について
		中等教育コース	美術教育 面接	個人面接 美術や美術教育に関する興味、意欲等 美術に関する基礎的な知識 これまでの学習歴 (美術実技を中心に) について
後期日程	学校教育課程	初等教育コース 中等教育コース	小論文	教育、文化、科学・技術、人間の発達に関わる課題を提示して論述させ、論理的思考力、表現力を総合的に評価します。資料や文献を与えることもあります。

5. 実技検査内容（学校教育課程）

日程	コース・ 選抜区分名	実技検査等の内容
前期	初等教育コース・中等教育コース 音楽教育	<p>次の声楽 実技課題とピアノ実技課題の両方を演奏する。</p> <p>○声楽実技 以下の4曲のうち、1曲を選んで当日暗譜で演奏する。 【28年度一般入試声楽実技課題曲】 Caro mio ben（Giuseppe Giordani 作曲） Son tutta duolo（Alessandro Scarlatti 作曲） 椰子の実【1番から3番まで】（大中寅二 作曲 島崎藤村 作詞） ふるさとの（平井康三郎 作曲 石川啄木 作詞）</p> <p>注1：イタリア歌曲は原語で演奏すること。調性は出版されている楽譜に掲載されている調であれば自由。手書き、パソコンなどによる移調は不可。 2：伴奏は本学教員が行うため、出願時に必ず伴奏譜を添付のこと。伴奏譜は譜めくりの必要がないように横一列（屏風型）に貼り合せておくこと。 3：演奏前に伴奏担当教員がテンポを確かめるので、おおよそのテンポを口頭で示すこと。 4：途中で演奏を止めることがある。</p> <p>○ピアノ実技 古典派のピアノ・ソナタより任意の1曲を選び、第1楽章または終楽章を暗譜で演奏する。 注1：繰り返しは省略すること。 2：途中で演奏を止めることがある。</p>
日程	美術教育	<p>○素描：「木炭デッサン」を選択の場合 木炭を用いて静物組モチーフを素描する。 注：イ. 用紙（MBM木炭紙 500×650mm），画板は本学で準備します。 ロ. デッサン用具一式を持参してください。 消し具として、食パン・練りゴムの使用も可能です。</p> <p>○素描：「鉛筆デッサン」を選択の場合 鉛筆を用いて静物組モチーフを素描する。 注：イ. 用紙（画用紙 B2サイズ）パネルは本学で準備します。 ロ. デッサン用具一式を持参してください。</p>
	中等教育コース 保健体育	<p>実技</p> <p>1. 基礎的運動能力に関する課題（文部科学省新体力テストに準ずる課題） 2. スポーツスキルに関する基礎的課題 器械運動（マット運動），陸上競技（ハードル走），球技（バスケットボール，バレーボール，サッカーから1種目を選択），武道・ダンス（柔道，剣道，ダンスから1種目を選択）の4運動領域から3運動領域を当日選択してください。</p> <p>注：イ. スポーツウェアと屋内シューズを用意してください。 ロ. 必要な用具は本学で準備します。ただし，柔道を選択する者は柔道着を持参してください。</p>

6. 注意事項

- (1) 本学が指定した平成28年度大学入試センター試験の教科・科目を一部でも受験していない者は出願無資格者として失格となります。受験することを課した教科・科目において、指定された教科・科目数を超えて受験している場合は、大学入試センターからのデータに基づいて高得点の教科・科目の成績を用います。ただし、「地歴」、「公民」及び「理②」の科目において、本学が1科目を課す場合の2科目受験者の成績の利用は、第1解答科目の得点を採用します。第1解答科目が本学の指定した科目でない場合には、無資格者となりますので、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって必ず本人の責任で確認してください。なお、出願無資格者であることが判明した者は、本学の個別学力検査等を受験することができません。
- (2) 初等教育コースと中等教育コースに募集人員のある選抜区分については、初等教育コースの志願者は中等教育コースを第2志望とし、中等教育コースの志願者は初等教育コースを第2志望とすることができます。

7. 入学者選抜の実施教科・科目等

(1) 前期日程

学部・課程・コース名		大学入試センター試験の利用教科・科目等	
		教科	科目名等
教 育 学 部	学校教育課程 初等教育 コース(26) 中等教育 コース(22)	初等教育コース 中等教育コース 言語教育 初等(5) 中等(5)	国 地歴 公民 数① 数② 理① 理② 外 「国」 「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 } から2 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 「数Ⅰ・数A」 「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」 から1 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2 または 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1 (5教科7科目または8科目)または〔6教科7科目または8科目〕
		初等教育コース 中等教育コース 社会系教育 初等(3) 中等(3)	
		初等教育コース 教育実践科学 初等(2)	
		初等教育コース 中等教育コース 理数教育 初等(6) 中等(6)	国 地歴 公民 数① 数② 理② 外 「国」 「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 } から1 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 「数Ⅰ・数A」 「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」 から1 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1 (5教科7科目)
		初等教育コース 中等教育コース 生活科学教育 初等(3) 中等(1)	国 地歴 公民 数① 数② 理② 外 「国」 「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 } から1 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 「数Ⅰ・数A」 「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」 から1 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1 (5教科7科目)
		初等教育コース(26) 中等教育コース(22) 初等(3) 中等(1)	国 地歴 公民 数① 数② 理① 理② 外 「国」 「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 } から2 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 「数Ⅰ・数A」 「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」 から1 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2 または 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1 (5教科7科目または8科目)または〔6教科7科目または8科目〕
		初等教育コース 中等教育コース 音楽教育 初等(2) 中等(1)	国 地歴 公民 数① 数② 理② 外 「国」 「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 } から1 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 「数Ⅰ・数A」 「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」 から1 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1 (5教科7科目)
		中等教育コース 美術教育 中等(3)	国 地歴 公民 数① 数② 理① 理② 外 「国」 「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 } から2 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 「数Ⅰ・数A」 「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」 から1 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2 または 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1 (5教科7科目または8科目)または〔6教科7科目または8科目〕
		中等教育コース 保健体育 中等(3)	国 地歴 公民 数① 数② 理① 理② 外 「国」 「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 } から1 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 「数Ⅰ・数A」 「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」 から1 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1 (5教科7科目)
		初等教育コース 臨床教育科学・ 障害児教育 初等(5)	国 地歴 公民 数① 数② 理② 外 「国」 「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 } から1 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 「数Ⅰ・数A」 「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」 から1 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2 「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1 (5教科7科目)
	国 地歴 公民 数① 数② 理① 理② 外 「国」 「世A」、「世B」、「日A」、「日B」、「地理A」、「地理B」 } から2 「現社」、「倫」、「政経」、「倫・政経」 「数Ⅰ・数A」 「数Ⅱ・数B」、「簿」、「情報」 から1 「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」から2 または 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1 (5教科7科目または8科目)または〔6教科7科目または8科目〕		

個別学力検査等の実施科目等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											備考		
教科等	科目名等	試験の区分	国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科		外国語	実 技	面 接		小論文	配点 合計
						①	②	①	②						
国 外	「国語総合・現代文B・古典B」 「コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ」	センター試験	200	200		100	100	*100	*100	200				900	
		個別学力検査	300							300				600	
		計	500	200		100	100	100		500				1500	
地歴公民 数 外	「世B」「日B」「地理B」「政経」からⅠ 「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B」 「コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ」	センター試験	200	200		100	100	*100	*100	200				900	
		個別学力検査		300		*300				*300				600	
		計	200	500		200/ *500		100		200/ *500				1500	
国 数 外	「国語総合・現代文B・古典B」 「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B」 「コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ」	センター試験	200	200		100	100	*100	*100	200				900	
		個別学力検査	*300			*300				*300				600	
		計	200/ *500	200		200/ *500		100		200/ *500				1500	
数 国 外	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「国語総合・現代文B・古典B」 「コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ」	センター試験	100	100		100	100		400	100				900	
		個別学力検査	*300			300				*300				600	
		計	100/ *400	100		500		400		100/ *400				1500	
数 国 外	「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B」 「国語総合・現代文B・古典B」 「コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ」	センター試験	200	100	200	100	100	*100	*100	200				900	
		個別学力検査	*300			300				*300				600	
		計	200/ *500	100	200	500		200		200/ *500				1500	
そ 他	「実技」・「面接（口述試験を含む。）」 （音楽教育）	センター試験	200	100	200	100	100	*100	*100	200				900	
		個別学力検査									500	100		600	
		計	200	100	200	100	100	200 100		200	500	100		1500	
そ 他	「実技」・「面接（口述試験を含む。）」 （美術教育）	センター試験	200	100	200	100	100	*100	*100	200				900	
		個別学力検査									500	100		600	
		計	200	100	200	100	100	200 100		200	500	100		1500	
そ 他	「実技」 （保健体育）	センター試験	200	100	200	100	100	*100	*100	200				900	
		個別学力検査									600			600	
		計	200	100	200	100	100	200 100		200	600			1500	
国 数 外	「国語総合・現代文B・古典B」 「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B」 「コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ」	センター試験	200	100	200	100	100	*100	*100	200				900	
		個別学力検査	*300			*300				*300				600	
		計	200/ *500	100	200	200/ *500		200		200/ *500				1500	

(2) 後期日程

学部・課程・コース名		大学入試センター試験の利用教科・科目等	
		教科	科目名等
教育学部	学校教育課程 初等教育コース(16) 中等教育コース(7)	初等教育コース 中等教育コース 【統合型】	国 地歴 公民 数① 数② 理② 外 「国」 「世A」,「世B」,「日A」,「日B」,「地理A」,「地理B」 「現社」,「倫」,「政経」,「倫・政経」 } から1 「数Ⅰ・数A」 「数Ⅱ・数B」,「簿」,「情報」 から1 「物理」,「化学」,「生物」,「地学」 から2 「英」,「独」,「仏」,「中」,「韓」 から1 〔5教科7科目〕
		言語教育 社会系教育 教育実践科学 理数教育 生活科学教育	国 地歴 公民 数① 数② 理① 理② 外 「国」 「世A」,「世B」,「日A」,「日B」,「地理A」,「地理B」 「現社」,「倫」,「政経」,「倫・政経」 } から2 「数Ⅰ・数A」 「数Ⅱ・数B」,「簿」,「情報」 から1 「物理基礎」,「化学基礎」,「生物基礎」,「地学基礎」から2 または 「物理」,「化学」,「生物」,「地学」 から1 「英」,「独」,「仏」,「中」,「韓」 から1 〔5教科7科目または8科目〕 または 〔6教科7科目または8科目〕
		初等(9) 中等(7)	
	初等教育コース 臨床教育科学・ 障害児教育	国 地歴 公民 数① 数② 理① 理② 外 「国」 「世A」,「世B」,「日A」,「日B」,「地理A」,「地理B」 「現社」,「倫」,「政経」,「倫・政経」 } から1 「数Ⅰ・数A」 「数Ⅱ・数B」,「簿」,「情報」 } から1 「物理基礎」,「化学基礎」,「生物基礎」,「地学基礎」から2 または 「物理」,「化学」,「生物」,「地学」 から1 「英」,「独」,「仏」,「中」,「韓」 から1 〔3教科3科目または4科目〕	
	初等(7)		

(3) 注意(前期日程・後期日程共通)

【大学入試センター試験の利用教科・科目名等】欄

- 受験することを課した教科・科目において、指定された教科・科目数を超過して受験している場合は、大学入試センターからのデータに基づいて高得点の教科・科目の成績を用います。
ただし、「地歴」、「公民」及び「理②」の科目において、本学が1科目を課す場合の2科目受験者の成績の利用は、第1解答科目の得点を採用します。第1解答科目が本学の指定した科目でない場合には、無資格者となりますので十分注意してください。
- 「理①」及び「理②」から3科目を受験している場合は、「理①」2科目合計の得点又は「理②」の得点のうち、いずれか得点の高い成績を利用します。
- 「地歴」、「公民」及び「理①」、「理②」で5科目受験している場合（「地歴」、「公民」2科目+「理①」2科目+「理②」1科目）、以下のように成績を用います。
 - ①「地歴」、「公民」の第1解答科目
 - ②「地歴」、「公民」の第2解答科目、「理①」2科目及び「理②」1科目のうち、得点の高い順に2科目（「理①」2科目を採用した場合は3科目）
- 「地歴」、「公民」と「理②」で4科目受験している場合（「地歴」、「公民」2科目+「理②」2科目）、以下のように成績を用います。
 - ①「地歴」、「公民」の第1解答科目
 - ②「理②」の第1解答科目
 - ③「地歴」、「公民」及び「理②」の第2解答科目のうち得点の高い科目
- 「地歴」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- 「簿」、「情報」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。
- 外国語において「英」を選択した場合は、筆記試験とリスニングの合計得点（250点満点）を他の外国語と同様に本学の配点に換算します。
ただし、リスニングを免除されている場合には、「英」の筆記試験の得点（200点満点）を本学の配点に換算します。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

- *印は選択を示します。
- 「200/＊500」という表記は、個別学力検査でその教科・科目を選択しなかった場合は200点、選択した場合は合計500点とすることを示します。

【個別学力検査等の実施科目等】欄

- 数学の出題範囲は、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」の全範囲から出題します。「数学B」は、「数列」及び「ベクトル」を出題範囲とします。

旧教育課程（平成11年3月文部省告示）履修者への経過措置（平成28年度限りの措置とし、新教育課程履修者は対象外となります。）

【大学入試センター試験の利用教科・科目名等】

- 数学②は旧教育課程の「工業数理基礎」を加えた科目から選択することができます。ただし、「工業数理基礎」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

個別学力検査等の実施科目等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											備考		
教科等	科目名等	試験の区分	国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科		外国語	実 技	面 接		小論文	配点 合計
						①	②	①	②						
その他	「小論文」	センター試験	200	100		100	100	200		200				900	
				200				*100	*100						
		個別学力検査											400	400	
		計	200		100		100		200		200			400	1300
その他	「小論文」	センター試験	*100	*100		*100	*100	*100	*100	*100				300	
		個別学力検査											300	300	
		計	*100	*100		*100	*100	*100	*100	*100			300	600	

Ⅲ 医学部

1. アドミッション・ポリシー

(1) 教育理念・目標

福井大学医学部では、

- ①人間形成を基盤に、生命尊重を第一義とする医の倫理を体得する、
 - ②高度な医学・看護学知識を修得した、信頼し得る医療人および研究者を育成する、
 - ③医学・看護学の進展、ならびに地域医療の向上に寄与する、
- ことを教育理念とし、これまでに多くの優れた医療人および教育・研究者を福井県はもとより全国に輩出し、広く社会に貢献しています。

医 学 科	<ul style="list-style-type: none"> ①幅広い医学知識を持ち質の高い臨床能力を身につけ、 ②コミュニケーション能力に優れ、高い倫理観を持って患者中心の医療を実践でき、 ③日々進歩する医学知識・医療技術を生涯にわたり学ぶ習慣を身につけ、根拠に立脚した医療を実践できる医療人を育成します。 <p>そして、</p> <ul style="list-style-type: none"> ④世界をリードする生命科学研究者や医学教育者となりうる人や、 ⑤個人と地域・国際社会の健康増進と疾病の予防・根絶に寄与し、国際的な視野でまたは地域に根ざした活動ができる人を育成します。
看 護 学 科	<ul style="list-style-type: none"> ①看護の対象となる人間を総合的に理解でき、 ②高い倫理観を持ち、看護の対象となる人間の権利を守ることのできる医療人を育成します。 <p>加えて、</p> <ul style="list-style-type: none"> ③健康に関わる諸問題の解決に必要な知識・技術を主体的に学び、創造する能力、 ④関連領域の専門家と協力し、必要に応じて調整的な役割を果たす能力、および ⑤看護を批判的に吟味し、建設的・創造的に発展させる能力を育成します。

(2) 特色

医 学 科	<p>医学の円滑な学修を行うため、基礎医学と臨床医学とを有機的に関連付けた「統合型カリキュラム」を導入しています。また、課題探求・問題解決能力や、生涯にわたり学ぶ習慣を育てる「チュートリアル教育」も導入するなど、教育の質の向上に常に取り組んでいます。</p>
看 護 学 科	<p>将来の職業選択に生かせるよう、選択科目の多い、ゆとりある教育を実施しています。また、医学部附属病院が主な実習病院であることから、最新の医療現場で充実した看護を学べます。</p>

(3) 求める学生像

理念・目標を達成するために、

医 学 科	<ul style="list-style-type: none"> ①医師となるにふさわしい豊かな人間性、周囲との協調性、奉仕の精神を持ち、 ②医学教育内容を十分理解するために必要な幅広い基礎学力と応用能力に富み、 ③医学・医療を通じて広く社会に貢献しようとする強い情熱と意欲を持った人を求めます。 <p>そして、</p> <ul style="list-style-type: none"> ④先端的生命科学に強い関心を持ち医学研究者になることを希望する人や、 ⑤医師として地域医療に貢献したいという人も求めています。
看 護 学 科	<ul style="list-style-type: none"> ①人間存在に関心を持ち、感性が豊かであり、 ②人との関わりを通して、相互に成長することができ、 ③基礎学力があり、 ④向上心と探究心があり、自律的に行動できる人を求めています。

(4) 入学者選抜の基本方針

医 学 科	<p>様々な資質・背景を持つ多様な人に広く門戸を開くため、次のような選抜方法を行っています。全ての試験に面接試験を課し、医師としての資質・適性・将来性を判断することにより、「求める学生像」に相応しい人の選抜に努めています。</p> <p>①一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校卒業者及びそれに準ずる学力を持った者に対し、大学入試センター試験、個別学力検査及び面接の成績によって選抜を行います。大学入試センター試験に加え、個別学力検査を課し、医学を学び生かす基礎学力や科学的、論理的思考力を評価します。</p> <p>②特別入試（推薦入試Ⅱ：全国枠） 学習成績や人格に優れた者とした高等学校長の推薦する高等学校卒業見込み者に対し、書類審査、大学入試センター試験及び面接の成績によって選抜を行います。大学入試センター試験の成績で医学を学び生かす基礎学力や科学的、論理的思考力を評価すると共に、面接と書類審査によって「求める学生像」に相応しい人の選抜を行います。</p> <p>③特別入試（推薦入試Ⅱ：地域枠） 学習成績や人格に優れ、福井県内において医療に従事する強い意思を有し、かつ高等学校長の推薦する福井県内の高等学校卒業見込み者及び1年前に高等学校を卒業した者等に対し、書類審査、大学入試センター試験及び面接の成績によって選抜を行います。大学入試センター試験の成績では医学を学び生かす基礎学力や科学的、論理的思考力を評価すると共に、面接と書類審査では福井県内の医療に従事する強い意思を評価します。</p> <p>④特別入試（推薦入試Ⅱ：福井健康推進枠） 学習成績や人格に優れ、福井県内において医療に従事する強い意思を有し、かつ高等学校長の推薦する高等学校卒業見込み者及び1年前に高等学校を卒業した者に対し、書類審査、大学入試センター試験及び面接の成績によって選抜を行います。大学入試センター試験の成績では医学を学び生かす基礎学力や科学的、論理的思考力を評価すると共に、面接と書類審査では福井県内の医療に従事する強い意思を評価します。</p> <p>⑤学士編入学 大学卒業者及びそれに準ずる学力を持った者に対し、書類審査、個別学力検査及び面接の成績によって選抜を行います。個別学力検査では理系大学教養課程修了に相当する基礎学力（生命科学関連、英語等）を評価します。面接では学士としての見識と経験、医学を学ぶ目的と強い意欲を判断します。合格者は2年次後期（10月）に編入します。</p>
看 護 学 科	<p>「求める学生像」にふさわしい者を選抜するため、多様な観点から受験者の学力や資質を評価します。また、全ての試験に面接を課し、看護を学ぶ意欲・積極性・表現力・協調性・一般的態度を評価することにより、アドミッション・ポリシーに沿った入学者選抜に努めています。</p> <p>①一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校卒業者及び同等以上の学力があると認めた者に対し、大学入試センター試験、個別学力検査及び面接並びに調査書の内容を総合して選抜します。 大学入試センター試験では高等学校等での教科面における学習達成度を評価します。個別学力検査及び面接では、看護を学ぶための適性を総合的に評価するとともに、調査書により受験者の資質を評価します。</p> <p>②特別入試（推薦入試Ⅰ） 人物、学力ともに優秀で健康であると高等学校長から推薦された高等学校卒業見込者に対し、個別学力検査及び面接並びに調査書等の内容を総合して選抜します。個別学力検査及び面接では、看護を学ぶための適性を総合的に評価するとともに、調査書により受験者の資質を評価します。</p>

2. 個別学力検査等の日程

日 程	学 科	試 験 科 目 等	試 験 時 間
前 期 日 程	医 学 科	数学 (110分)	9 : 20～11 : 10
		理 科 (物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物) (120分) (試験時に2科目を選択)	12 : 20～14 : 20
		外国語 (英語) (110分)	15 : 10～17 : 00
	看護学科	小論文 (90分)	12 : 20～13 : 50
2月26日(金)	医 学 科 看護学科	面接	9 : 30～
後 期 日 程	医 学 科 看護学科	小論文 (90分)	9 : 30～11 : 00
		面接	12 : 30～

受験上の注意事項：

- ア. 試験室には、受験する科目の試験開始時刻の20分前までに入室してください。
前期日程の面接における集合時間については、2月25日(木)の試験終了時までに試験場入口に掲示します。
- イ. 試験開始に遅刻した場合は、試験開始後30分以内に限り、受験を認めます。
ただし、面接は、集合時間に遅刻した場合、特別の事情がない限り受験を認めません。
- ウ. 本学が課す試験を一部でも受験しなかった場合は、失格となります。

3. 入学者選抜方法等

- (1) 大学入試センター試験並びに個別学力検査等及び調査書の内容を総合して選抜します。
- (2) 医学科の前期日程・後期日程において、2段階選抜を実施します。その第1段階選抜の合格者に対してのみ個別学力検査等を実施します。看護学科では、2段階選抜は行いません。

① 2段階選抜

志願者数が前期日程で募集人員の約5倍を超えた場合、後期日程で募集人員の約7倍を超えた場合に、大学入試センター試験の利用教科・科目の配点による成績の総得点により、前期日程は募集人員の約5倍、後期日程は募集人員の約7倍の範囲内で合格者とする第1段階選抜を行うことがあります。その場合には、第1段階選抜合格者に対してのみ個別学力検査等を実施します。

第1段階選抜の可否は、前期日程、後期日程ともに平成28年2月10日(水)に、志願者全員に第1段階選抜結果通知書を速達郵便で送付します。その際、合格者には受験票等を同封します。

② 第1段階選抜不合格者に対する検定料の一部返還についての取扱い

第1段階選抜不合格者に対しては、検定料の一部(13,000円)を返還しますが、その方法等については、第1段階選抜結果通知の際に関係書類を同封するので、該当者は平成28年3月31日(木)までに所定の手続をとってください。

- (3) 大学入試センター試験の利用教科・科目名、個別学力検査等の教科・科目名及びその配点については、「5.入学者選抜の実施教科・科目等」(28・29ページ)を参照してください。

4. 注意事項

本学が指定した平成28年度大学入試センター試験の教科・科目を一部でも受験していない者は出願無資格者として失格となります。また、「地歴」、「公民」及び看護学科「理②」の科目において、2科目受験者の成績の利用は、第1解答科目の得点を採用します。第1解答科目が本学の指定した科目でない場合には、無資格者となりますので、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって必ず本人の責任で確認してください。なお、出願無資格者であることが判明した者は、個別学力検査を受験することができません。

5. 入学者選抜の実施教科・科目等

(1) 前期日程

学部・学科名		大学入試センター試験の利用教科・科目名等	
		教科	科目名等
医学部	医学科 前期(55)	国 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「国」 「世B」, 「日B」, 「地理B」 }から1 「倫・政経」 「数Ⅰ・数A」 「数Ⅱ・数B」, 「簿」, 「情報」 から1 「物理」, 「化学」, 「生物」 から2 「英」 [5教科7科目]
	看護学科 前期(30)	国 地歴 公民 数① 数② 理① 理② 外	「国」 「世A」, 「世B」, 「日A」, 「日B」 「地理A」, 「地理B」 }から1 「現社」, 「倫」, 「政経」, 「倫・政経」 「数Ⅰ・数A」 「数Ⅱ・数B」, 「簿」, 「情報」 から1 「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」 から2 または 「物理」, 「化学」, 「生物」から1 「英」 [5教科6科目または7科目]

(2) 後期日程

学部・学科名		大学入試センター試験の利用教科・科目名等	
		教科	科目名等
医学部	医学科 後期(25)	国 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「国」 「世B」, 「日B」, 「地理B」 }から1 「倫・政経」 「数Ⅰ・数A」 「数Ⅱ・数B」, 「簿」, 「情報」 から1 「物理」, 「化学」, 「生物」 から2 「英」 [5教科7科目]
	看護学科 後期(10)	国 地歴 公民 数① 数② 理① 理② 外	「国」 「世A」, 「世B」, 「日A」, 「日B」 「地理A」, 「地理B」 }から1 「現社」, 「倫」, 「政経」, 「倫・政経」 「数Ⅰ・数A」 「数Ⅱ・数B」, 「簿」, 「情報」 から1 「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」 から2 または 「物理」, 「化学」, 「生物」から1 「英」 [5教科6科目または7科目]

(3) 注意（前期日程・後期日程共通）

医学部医学科においては、志願者数が前期日程で募集人員の約5倍を超えた場合、後期日程で募集人員の約7倍を超えた場合に、大学入試センター試験の利用教科・科目の配点による成績の総得点により、前期日程は募集人員の約5倍、後期日程は募集人員の約7倍の範囲内で合格者とする第1段階選抜を行うことがあります。その場合は、第1段階選抜合格者に対してのみ個別学力検査等を実施します。

【大学入試センター試験の利用教科・科目名等】欄

- 「地歴」, 「公民」及び看護学科の「理②」の科目において、2科目受験者の成績の利用は、第1解答科目の得点を採用します。第1解答科目が本学の指定した科目でない場合には、無資格となりますので十分注意してください。
- 「簿」, 「情報」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。
- 医学部看護学科において、「理①」2科目及び「理②」1科目の3科目を受験している場合は、「理①」2科目合計の得点又は「理②」の得点のうち、いずれか高い成績を採用します。
- 外国語「英」は、筆記試験とリスニングテストの合計得点（250点満点）を本学の配点に換算します。ただし、リスニングを免除されている場合には、「英」の筆記試験の得点（200点満点）を本学の配点に換算します。
- *印は選択を示します。

【個別学力検査等の実施科目等】欄

- 「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」は、「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学Ⅲ」, 「数学A」の全範囲から出題します。「数学B」は、「数列」と「ベクトル」を出題範囲とします。
- 「物理基礎・物理」は、「物理基礎」と「物理」の全範囲から出題します。
- 「化学基礎・化学」は、「化学基礎」と「化学」の全範囲から出題します。
- 「生物基礎・生物」は、「生物基礎」と「生物」の全範囲から出題します。
- 面接の評価が著しく低い場合には、総合得点にかかわらず不合格とすることがあります。

旧教育課程（平成11年3月文部省告示）履修者への経過措置（平成28年度限りの措置とし、新教育課程履修者は対象外となります。）

【大学入試センター試験の利用教科・科目名等】

- 数学②は旧教育課程の「工業数理基礎」を加えた科目から選択することができます。ただし、「工業数理基礎」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

個別学力検査等の実施科目等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										備考		
教科等	科目名等	試験の区分	国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科		外国語	小論文		面 接	配点 合計
						①	②	①	②					
数 理 外 その他	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「物理基礎・物理」 「化学基礎・化学」 「生物基礎・生物」 「コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ」 「面接」	センター試験	200	100		100	100	①	②	200	200		900	
		個別学力検査				200		200		200		100	700	
	計		200	100		400		400		400		100	1600	
その他	「小論文」 「面接」	センター試験	200	100		100	100	*100	*100	200			800	
		個別学力検査									150	100	250	
	計		200	100		100	100	100	200	150	100		1050	

個別学力検査等の実施科目等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										備考		
教科等	科目名等	試験の区分	国 語	地理 歴史	公民	数 学		理 科		外国語	小論文		面 接	配点 合計
						①	②	①	②					
その他	「小論文」 「面接」	センター試験	100	50		50	50		100	100			450	
		個別学力検査									100	120	220	
	計		100	50		50	50		100	100	120		670	
その他	「小論文」 「面接」	センター試験	200	100		100	100	*100	*100	200			800	
		個別学力検査									150	100	250	
	計		200	100		100	100	100	200	150	100		1050	

6. 小論文, 面接の内容 (出題方針) 等

日程	学 科	区 分	小論文, 面接の内容 (出題方針) 等
前期日程	医 学 科	面 接	個人面接により人間性, 自主性, 思考力, 表現力, 責任感など医学科学生としての適性, 能力を評価します。
	看護学科	小論文	人間, 生命科学, 健康, 倫理などに関わる課題について, 課題の理解力, 論理の構成力, 文章表現力等を評価します。
		面 接	個人面接により看護学を学ぶ意欲及び積極性, 表現力, 協調性, 一般的態度等を評価します。
後期日程	医 学 科	小論文	課題 (和文, 英文の両方又はいずれかで出題されます) の理解力, 論理の構成力, 文章表現力等を評価します。
		面 接	個人面接により人間性, 自主性, 思考力, 表現力, 責任感など医学科学生としての適性, 能力を評価します。
	看護学科	小論文	人間, 生命科学, 健康, 倫理などに関わる課題について, 課題の理解力, 論理の構成力, 文章表現力等を評価します。
		面 接	個人面接により看護学を学ぶための適性を総合的に評価します。

Ⅳ 工学部

1. アドミッション・ポリシー

(1) 工学部における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

工学は、人間社会の持続的発展を可能にするための学問体系である。工学部では、基礎的な知識・教養と高度な専門能力に加えて、創造力、評価力、自己学習力およびコミュニケーション能力を併せた総合能力を持つ技術者・研究者を養成する。また、地域社会と国際社会の豊かな発展に寄与することを目的に、広く工学全般にわたって教育研究を行い、その成果を社会に還元する。

工学部各学科の目的は、以下のとおりとする。

機械・システム工学科	ものづくりを通して人にやさしく安全で安心な社会の構築と持続に貢献し、多種多様な革新的機械・システム技術を創造できる人材を養成する。
電気電子情報工学科	電気・電子、情報・通信の分野において、横断的な基礎知識、体系的な専門知識および高い倫理観を有し、豊かな暮らしを支える科学技術の持続的発展に工学的視点から寄与し得る専門技術者および研究者を養成する。
建築・都市環境工学科	建築と土木に関する専門知識の体系的な理解をもとに、建築物と社会基盤を創造・保全し、持続可能で安全・安心な生活環境の形成に貢献する実践力のある人材を養成する。
物質・生命化学科	物質の構造や性質、その反応に関わる法則などを探究する「物質化学」、生命科学の基盤である「生物化学」、物理法則を基礎として材料を取り扱う「材料工学」に関する専門知識を教育する。さらに、繊維をはじめとする高性能・高機能材料の創製や関連科学技術の開拓、医学・工学の融合分野へのバイオテクノロジーの展開などを通じて身につけたスキルや知恵、高い倫理観を駆使し、人類の健やかな生活と持続可能で豊かな社会の実現に向けて、地域社会から国際社会の様々な分野において活躍できる研究者および専門技術者を養成する。
応用物理学科	物理学・数学・工学に関する基礎から応用までの広範な知識を有し、職業人に求められる自己学習能力・問題解決能力・表現能力・職業倫理を身につけ、それらを総合して創造性のある研究・開発を行うことのできる専門技術者を養成する。

(2) 求める学生像

学部共通

1. 基礎学力があり、チャレンジ精神にあふれる人
2. 科学技術を通して国際社会で活躍したい人

各学科

機械・システム工学科	<p>「人と地球を支える機械・システム技術にイノベーションを」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 数学、物理の基礎学力を有し、大学において、更に高度な知識・見識を修得する意欲のある人 2. 人と地球にやさしいものづくりに興味を持つ人 3. 広い視野と柔軟な発想力を持ち、自分の考えを正しく表現できる人
電気電子情報工学科	<p>「電気・電子・情報分野の伝承と創造は君の手で」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 物理や数学が好きな人 2. 電気、電子、コンピュータに興味や好奇心を持っている人 3. チャレンジ精神を持って将来活躍したい人
建築・都市環境工学科	<p>「建築物や社会基盤をデザインし、環境を創造する」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建築あるいは都市環境分野に強い興味を持ち、意欲旺盛な人 2. 独創的な発想ができ、実践力のある人 3. 自分で目標設定ができ、それに向かって努力する人

物質・生命化学科	<p>「創造する化学にチャレンジ！」</p> <p>1. 化学・物理・生物に興味があり、それらの知識を活かして社会に貢献したい人 2. 目的をもち、その実現のため何事にも積極的に努力する人 3. 日常の物事や現象に常に疑問をもち、それらについて深く考える人</p>
応用物理学科	<p>「先端科学技術を支える物理学の世界へ」</p> <p>1. 物理や数学が得意で、将来、先端科学技術分野で活躍したい人 2. ものごとを基本に戻って考えることが好きな人 3. 手を動かしてものを作ったり実験をするのが好きな人</p>

(3) 入学者選抜の基本方針

【一般入試（前期日程）】

機械・システム工学科 電気電子情報工学科 応用物理学科	<p>大学入試センター試験（5教科7科目）により基礎的学力を総合的に判定する。さらに個別学力試験（数学，物理）により，数学と物理に関する標準的な知識と理解に基づいて論理的な思考を展開し，それを記述する能力を判定する。</p>
建築・都市環境工学科 物質・生命化学科	<p>大学入試センター試験（5教科7科目）により基礎的学力を総合的に判定する。さらに個別学力試験（数学，物理又は化学）により，数学と物理又は化学に関する標準的な知識と理解に基づいて論理的な思考を展開し，それを記述する能力を判定する。</p>

【一般入試（後期日程）】

機械・システム工学科 電気電子情報工学科 応用物理学科	<p>大学入試センター試験（5教科7科目）により基礎的学力を総合的に判定する。さらに個別学力試験（物理）により，物理に関する標準的な知識と理解に基づいて論理的な思考を展開し，それを記述する能力を判定する。</p>
建築・都市環境工学科	<p>大学入試センター試験（5教科7科目）により基礎的学力を総合的に判定し，さらに小論文により独創性，自主性，自己表現力等を判定する。</p>
物質・生命化学科	<p>大学入試センター試験（5教科7科目）により基礎的学力を総合的に判定し，さらに面接（口述試験を含む）により，学習意欲，チャレンジ精神，論理的思考力等を判定する。</p>

【AO入試Ⅰ】

機械・システム工学科 電気電子情報工学科	<p>大学入試センター試験は免除するが，第1次選考では書類審査により，文章力や自己アピール力等の判定及び提出された調査書等に基づく基礎的学力の判定を行う。最終選考では面接（口述試験を含む）により，目的意識・意欲，表現力等の判定及び理数系科目の学力判定を行う。</p>
建築・都市環境工学科	<p>大学入試センター試験は免除するが，第1次選考では書類審査により，文章力や自己アピール力等の判定及び提出された調査書等に基づく基礎的学力の判定を行う。最終選考ではプレゼンテーション，ディスカッション及び面接（口述試験を含む）により，目的意識・意欲，表現力等の判定及び理数系科目の学力判定を行う。</p>

【AO入試Ⅱ】

機械・システム工学科 電気電子情報工学科 建築・都市環境工学科 物質・生命化学科 応用物理学科	<p>第1次選考では書類審査により，文章力や自己アピール力等の判定及び提出された調査書等に基づく基礎的学力の判定を行う。最終選考では，大学入試センター試験により基礎的学力を総合的に判定し，さらに面接（口述試験を含む）により，目的意識・意欲，表現力等の判定及び理数系科目の学力判定を行う。</p>
---	---

【私費外国人留学生入試】

全 学 科 共 通	<p>日本留学試験及び TOEFL の成績，並びに，面接，口述試験（簡単な筆記試験を行う場合もある。）及び出願書類により，日本語能力と理数系科目の学力判定を行う。</p>
-----------	---

2. 個別学力検査等の日程

日 程	学 科	試 験 科 目 等	試 験 時 間
前期日程	全 学 科	数学 (110分)	9 : 20~11 : 10
	機械・システム工学科 電気電子情報工学科 応用物理学科	理科 (物理基礎・物理) (110分)	12 : 20~14 : 10
	建築・都市環境工学科 物質・生命化学科	理科 (物理基礎・物理) 理科 (化学基礎・化学) (110分) (試験時に1科目を選択)	
後期日程	機械・システム工学科 電気電子情報工学科 応用物理学科	理科 (物理基礎・物理) (120分)	9 : 30~11 : 30
	建築・都市環境工学科	小論文 (120分)	
	物質・生命化学科	面接 (口述試験を含む)	9 : 30~

受験上の注意事項：

- ア. 試験室には、受験する科目の試験開始時刻の20分前までに入室してください。
- イ. 試験開始に遅刻した場合は、試験開始後30分以内に限り、受験を認めます。
- ウ. 本学が課す試験を一部でも受験しなかった場合は、失格となります。

3. 入学者選抜方法等

- (1) 大学入試センター試験並びに個別学力検査等及び調査書を総合して選抜します。
- (2) 工学部では、前期日程、後期日程とも2段階選抜は実施しません。
- (3) 大学入試センター試験の利用教科・科目名、個別学力検査等の教科・科目名及びその配点については、「6.入学者選抜の実施教科・科目等」(34~38ページ)を参照してください。
- (4) 小論文、面接の内容等については、次項を参照してください。

4. 小論文、面接の内容 (出題方針) 等

日程	学 科	区 分	小論文、面接の内容 (出題方針) 等
後期日程	建築・都市環境工学科	小論文	建築あるいは建設分野に強い興味を持ち、学習意欲が旺盛である人を求めます。 基礎学力に加えて独創性、自主性、自己表現力等を評価します。
	物質・生命化学科	面接	基礎学力及び人物的に優れている人を求めます。 学習意欲、チャレンジ精神、論理性等を面接試験で判断し、学力と人物の総合判定を行います (口述試験を含む)。

5. 注意事項

本学が指定した平成28年度大学入試センター試験の教科・科目を一部でも受験していない者は 出願無資格者として失格となります。また、「地歴」、「公民」の科目において、2科目受験者の成績の利用は、第1解答科目の得点を採用します。本学は出願期間終了後に大学入試センターからのデータに基づいてのみ、この確認を行いますので、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって必ず本人の責任で確認してください。なお、出願無資格者であることが判明した者は、個別学力検査を受験することができません。

6. 入学者選抜の実施教科・科目等

(1) 前期日程

学部・学科名		大学入試センター試験の利用教科・科目名等	
		教科	科目名等
工 学 部	機械・システム工学科 前期(75)	国 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「国」 「世A」, 「世B」, 「日A」, 「日B」, 「地理A」, 「地理B」 } から1 「現社」, 「倫」, 「政経」, 「倫・政経」 「数I・数A」 「数II・数B」, 「簿」, 「情報」 から1 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から2 「英」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」 から1 (5教科7科目)
	電気電子情報工学科 前期(68)	国 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「国」 「世A」, 「世B」, 「日A」, 「日B」, 「地理A」, 「地理B」 } から1 「現社」, 「倫」, 「政経」, 「倫・政経」 「数I・数A」 「数II・数B」, 「簿」, 「情報」 から1 「物理」 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1 「英」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」 から1 (5教科7科目)
	建築・都市環境工学科 前期(30)	国 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「国」 「世A」, 「世B」, 「日A」, 「日B」, 「地理A」, 「地理B」 } から1 「現社」, 「倫」, 「政経」, 「倫・政経」 「数I・数A」 「数II・数B」, 「簿」, 「情報」 から1 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から2 「英」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」 から1 (5教科7科目)
	物質・生命化学科 前期(95)	国 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「国」 「世A」, 「世B」, 「日A」, 「日B」, 「地理A」, 「地理B」 } から1 「現社」, 「倫」, 「政経」, 「倫・政経」 「数I・数A」 「数II・数B」, 「簿」, 「情報」 から1 「物理」, 「化学」, 「生物」 から2 「英」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」 から1 (5教科7科目)
	応用物理学科 前期(20)	国 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「国」 「世A」, 「世B」, 「日A」, 「日B」, 「地理A」, 「地理B」 } から1 「現社」, 「倫」, 「政経」, 「倫・政経」 「数I・数A」 「数II・数B」, 「簿」, 「情報」 から1 「物理」 「化学」 「英」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」 から1 (5教科7科目)

個別学力検査等の実施科目等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											備考		
教科等	科目名等	試験の区分	国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科		外国語	実 技	面 接		小論文	配点 合計
						①	②	①	②						
数理	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「物理基礎・物理」	センター試験	200	100		100	100		200	200				900	
		個別学力検査				300		300						600	
計			200	100		500		500	200				1500		
数理	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「物理基礎・物理」	センター試験	200	100		100	100		200	200				900	
		個別学力検査				300		300						600	
計			200	100		500		500	200				1500		
数理	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「物理基礎・物理」 } から1 「化学基礎・化学」	センター試験	200	100		100	100		200	200				900	
		個別学力検査				300		300						600	
計			200	100		500		500	200				1500		
数理	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「物理基礎・物理」 } から1 「化学基礎・化学」	センター試験	200	100		100	100		200	200				900	
		個別学力検査				300		300						600	
計			200	100		500		500	200				1500		
数理	「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」 「物理基礎・物理」	センター試験	200	100		100	100		200	200				900	
		個別学力検査				300		300						600	
計			200	100		500		500	200				1500		

(2) 後期日程

学部・学科名		大学入試センター試験の利用教科・科目名等	
		教科	科目名等
工学部	機械・システム工学科 後期(68)	国 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「国」 「世A」, 「世B」, 「日A」, 「日B」, 「地理A」, 「地理B」 } から1 「現社」, 「倫」, 「政経」, 「倫・政経」 「数I・数A」 「数II・数B」, 「簿」, 「情報」 から1 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から2 「英」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」 から1 〔5教科7科目〕
	電気電子情報工学科 後期(42)	国 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「国」 「世A」, 「世B」, 「日A」, 「日B」, 「地理A」, 「地理B」 } から1 「現社」, 「倫」, 「政経」, 「倫・政経」 「数I・数A」 「数II・数B」, 「簿」, 「情報」 から1 「物理」 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1 「英」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」 から1 〔5教科7科目〕
	建築・都市環境工学科 後期(20)	国 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「国」 「世A」, 「世B」, 「日A」, 「日B」, 「地理A」, 「地理B」 } から1 「現社」, 「倫」, 「政経」, 「倫・政経」 「数I・数A」 「数II・数B」, 「簿」, 「情報」 から1 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から2 「英」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」 から1 〔5教科7科目〕
	物質・生命化学科 後期(30)	国 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「国」 「世A」, 「世B」, 「日A」, 「日B」, 「地理A」, 「地理B」 } から1 「現社」, 「倫」, 「政経」, 「倫・政経」 「数I・数A」 「数II・数B」, 「簿」, 「情報」 から1 「物理」, 「化学」, 「生物」 から2 「英」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」 から1 〔5教科7科目〕
	応用物理学科 後期(30)	国 地歴 公民 数① 数② 理② 外	「国」 「世A」, 「世B」, 「日A」, 「日B」, 「地理A」, 「地理B」 } から1 「現社」, 「倫」, 「政経」, 「倫・政経」 「数I・数A」 「数II・数B」, 「簿」, 「情報」 から1 「物理」 「化学」 「英」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」 から1 〔5教科7科目〕

個別学力検査等の実施科目等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											備考		
教科等	科目名等	試験の区分	国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科		外国語	実 技	面 接		小論文	配点 合計
						①	②	①	②						
理	「物理基礎・物理」	センター試験	200	100		100	100		200	200				900	
		個別学力検査							300					300	
		計	200	100		100	100		500	200				1200	
理	「物理基礎・物理」	センター試験	200	100		100	100		200	200				900	
		個別学力検査							300					300	
		計	200	100		100	100		500	200				1200	
その他	「小論文」	センター試験	200	100		100	100		200	200				900	
		個別学力検査										200		200	
		計	200	100		100	100		200	200		200		1100	
その他	「面接（口述試験を含む。）」 *面接については点数化しないが総合判定の 資料とします。	センター試験	200	100		100	200		400	200				1200	
		個別学力検査													
		計	200	100		100	200		400	200				1200	
理	「物理基礎・物理」	センター試験	200	100		100	100		200	200				900	
		個別学力検査							400					400	
		計	200	100		100	100		600	200				1300	

(3) 注意（前期日程・後期日程共通）

【大学入試センター試験の利用教科・科目名等】欄

- 「地歴」,「公民」の科目において,2科目受験者の成績の利用は,第1解答科目の得点を採用します。
- 「簿」,「情報」を選択解答できる者は,高等学校又は中等教育学校において,これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。
- 外国語「英」は,筆記試験とリスニングの合計得点（250点満点）を本学の配点に換算します。ただし,リスニングを免除されている場合には,「英」の筆記試験の得点（200点満点）を本学の配点に換算します。

【個別学力検査等の実施科目等】欄

- 「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B」は,「数学Ⅰ」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅲ」,「数学A」の全範囲から出題します。「数学B」は,「数列」と「ベクトル」を出題範囲とします。
- 「物理基礎・物理」は,物理基礎,物理の全範囲から出題します。
- 「化学基礎・化学」は,化学基礎,化学の全範囲から出題します。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

- 面接において,配点欄に○とある場合は,点数化しないが総合判定の資料としますので,面接の評価が著しく低い場合には,総合得点にかかわらず不合格とすることがあります。

旧教育課程（平成11年3月文部省告示）履修者への経過措置（平成28年度限りの措置とし,新教育課程履修者は対象外となります。）

【大学入試センター試験の利用教科・科目名等】

- 数学②は旧教育課程の「工業数理基礎」を加えた科目から選択することができます。ただし,「工業数理基礎」を選択できる者は,高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

V 国際地域学部

1. アドミッション・ポリシー

(1) 教育理念

地域や国際社会の抱える複雑な課題を探求し、課題解決をしていくための実践的・総合的な能力を身につけ、地域の創生を担いグローバル化した社会の発展に寄与する人材を育成する。

(2) 求める学生像

1. グローバル化によって地域から国際社会にまで起こっている複雑な諸問題について関心を持ち、それについての探求を深め課題解決に向けて主体的に取り組もうとする意欲のある者。
2. 課題探究と解決に向けて、必要な専門的な分野の学習を学ぶ意欲をもつとともに、問題解決の方法や他の人と協働で実践的に取り組んでいくことに積極性のある者。
3. 世界共通語的性格をもつ英語はもちろん、多文化的なグローバル社会の中で活躍できるコミュニケーション能力を身につけることに意欲を持ち、他の人との対話を通して、活動を広げ深めようとする者。

(3) 入学者選抜の基本方針

①一般入試（前期日程）

幅広い基礎学力を総合的に判定するために、大学入試センター試験を課します。さらに、教科・科目の学力を重視した学力検査を実施し、専門分野の学習に必要な知識・能力を評価します。

②一般入試（後期日程）

幅広い基礎学力を総合的に判定するために、大学入試センター試験を課します。さらに、小論文を課し、国際・地域社会に関わる課題を提示して論述させ、思考力・分析力・表現力を総合的に評価します。また、面接を実施し、国際・地域の諸課題に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。

③推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す）

幅広い基礎学力を総合的に判定するために、大学入試センター試験を課します。さらに、面接を実施し、国際・地域社会の諸課題に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。

④私費外国人留学生入試

小論文で、日本語の理解力と表現力を、また、面接によって日本で学ぼうとする意欲・資質・適性等を測ります。これらに日本留学試験と TOEFL の成績を加えて総合的に評価します。

⑤私費外国人留学生入試（外国人特別枠入試） ※外国人留学生として新たに留学する者

TOEFL、IELTS のいずれかの成績、日本語能力試験の成績、出願書類（志望理由書、推薦書、成績証明書）及び面接に基づき、総合的に評価します。

2. 個別学力検査等の日程

日 程	学 科	試 験 科 目 等	試 験 時 間	備 考	
前期日程	2月25日 (木)	国際地域学科	数 学 (110分)	9:20~11:10	
			国 語 (100分)	12:20~14:00	
			外 国 語 (100分) (英語)	14:40~16:20	
			地理歴史・公民 (100分) (世界史, 日本史, 地理, 政治・経済)	17:00~18:40	出願時に1科目を選択
後期日程	3月12日 (土)	国際地域学科	小 論 文 (120分)	9:30~11:30	
			面 接	13:00~	

受験上の注意事項:

- ア. 試験室には、受験する科目の試験開始時刻の20分前までに入室してください。
- イ. 試験開始に遅刻した場合は、試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- ウ. 本学が課す試験を一部でも受験しなかった場合は、失格となります。
- エ. 前期日程における出願時に選択した教科・科目以外での受験はできません。

3. 入学者選抜方法等

- (1) 大学入試センター試験並びに個別学力検査等及び調査書を総合して選抜します。
- (2) 前期日程、後期日程とも2段階選抜は実施しません。
- (3) 大学入試センター試験の利用教科・科目名、個別学力検査等の教科・科目名及びその配点については、「6.入学者選抜の実施教科・科目等」(42・43ページ)を参照してください。
- (4) 後期日程の面接時間の詳細については、小論文試験終了後にお知らせします。昼食を持参してください。
- (5) 大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の科目の得点が本学の定める基準に達していない場合は、募集人員内でも合格とならないことがあります。

4. 小論文、面接の内容（出題方針）等

日程	学 科	区 分	小論文、面接の内容（出題方針）等
後期日程	国際地域学科	小論文	国際・地域社会に関わる諸課題を提示して論述させ、思考力・分析力・表現力を評価します。資料や文献を与えることもあります。
		面 接	個人面接により国際・地域の諸課題に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。

5. 注意事項

- (1) 本学が指定した平成28年度大学入試センター試験の教科・科目を一部でも受験していない者は出願無資格者として失格となります。受験することを課した教科・科目において、指定された教科・科目数を超えて受験している場合は、大学入試センターからのデータに基づいて高得点の教科・科目の成績を用います。ただし、「地歴」、「公民」及び「理②」の科目において、本学が1科目を課す場合の2科目受験者の成績の利用は、第1解答科目の得点を採用します。第1解答科目が本学の指定した科目でない場合には、無資格者となりますので、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって必ず本人の責任で確認してください。なお、出願無資格者であることが判明した者は、本学の個別学力検査等を受験することができません。
- (2) 「理①」及び「理②」から3科目を受験している場合は、「理①」2科目合計の得点又は「理②」の得点のうち、いずれか得点の高い成績を利用します。
- (3) 個別学力検査の選択科目は、志願票に記入し選択してください。

6. 入学者選抜の実施教科・科目等

(1) 前期日程

学部・学科名		大学入試センター試験の利用教科・科目名等	
		教科	科目名等
国際地域学部	国際地域学科	国 地歴 公民 数① 数② 理① 理② 外	「国」 「世A」, 「世B」, 「日A」, 「日B」, 「地理A」, 「地理B」 } から2 「現社」, 「倫」, 「政経」, 「倫・政経」 「数I・数A」 「数II・数B」, 「簿」, 「情報」 から1 「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2 または 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1 「英」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」 から1 〔5教科7科目または8科目〕 または 〔6教科7科目または8科目〕
	前期 (35)		

(2) 後期日程

学部・学科名		大学入試センター試験の利用教科・科目名等	
		教科	科目名等
国際地域学部	国際地域学科	国 地歴 公民 数① 数② 理① 理② 外	「国」 「世A」, 「世B」, 「日A」, 「日B」, 「地理A」, 「地理B」 } から1 「現社」, 「倫」, 「政経」, 「倫・政経」 「数I・数A」 「数II・数B」, 「簿」, 「情報」 から1 (数①と数②を併せて1教科) 「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」 から2 または 「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」 から1 「英」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」 から1 〔3教科3科目または4科目または5科目〕
	後期 (15)		

(3) 注意 (前期日程・後期日程共通)

【大学入試センター試験の利用教科・科目名等】欄

- 受験することを課した教科・科目において、指定された教科・科目数を超過して受験している場合は、大学入試センターからのデータに基づいて高得点の教科・科目の成績を用います。
ただし、「地歴」、「公民」及び「理②」の科目において、本学が1科目を課す場合の2科目受験者の成績の利用は、第1解答科目の得点を採用します。第1解答科目が本学の指定した科目でない場合には、無資格者となりますので十分注意してください。
- 「理①」及び「理②」から3科目を受験している場合は、「理①」2科目合計の得点又は「理②」の得点のうち、いずれか得点の高い成績を利用します。
- 「地歴」においては、同一名称のA・B出題科目、「公民」においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- 「簿」、「情報」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。
- 外国語において「英」を選択した場合は、筆記試験とリスニングの合計得点（250点満点）を他の外国語と同様に本学の配点に換算します。ただし、リスニングを免除されている場合には、「英」の筆記試験の得点（200点満点）を本学の配点に換算します。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

- *印は選択を示します。
- 「200/*500」という表記は、個別学力検査でその教科・科目を選択しなかった場合は200点、選択した場合は合計500点とすることを示します。

【国際地域学部における外国語検定試験の活用】

- 外国語検定試験の成績を活用し、PBT TOEFL600点以上、iBT TOEFL100点以上の者は、大学入試センター試験の外国語の得点を満点（200点）とします。
ただし、これらの検定試験の成績は平成26年4月以降のものとしします。

【個別学力検査等の実施科目等】欄

- 数学の出題範囲は、「数学I」、「数学II」、「数学A」の全範囲から出題します。「数学B」は、「数列」及び「ベクトル」を出題範囲とします。

旧教育課程（平成11年3月文部省告示）履修者への経過措置（平成28年度限りの措置とし、新教育課程履修者は対象外となります。）

【大学入試センター試験の利用教科・科目名等】

- 数学②は旧教育課程の「工業数理基礎」を加えた科目から選択することができます。ただし、「工業数理基礎」を選択できる者は、高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。

個別学力検査等の実施科目等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											備考		
教科等	科目名等	試験の区分	国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科		外国語	実 技	面 接		小論文	配点 合計
						①	②	①	②						
国 地歴公民 数 外	「国語総合・現代文B・古典B」 「世B」、「日B」、「地理B」、「政経」 から1 から1 「数I・数II・数A・数B」 「コ英I・コ英II・コ英III・英表I・英表II」	センター試験	200	200	100	100	*100	*100	200					900	
		個別学力検査	*300	*300	*300					300					600
		計	200/ *500	200/ *500	200/ *500			100		500					1500

個別学力検査等の実施科目等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											備考		
教科等	科目名等	試験の区分	国語	地理 歴史	公民	数 学		理 科		外国語	実 技	面 接		小論文	配点 合計
						①	②	①	②						
その他	「小論文」 「面接（個人面接）」	センター試験	*200	*200	*100	*100	*200	*200	200					600	
		個別学力検査										100	200	300	
		計	*200	*200	*200	*200			200			100	200	900	

VI 福井大学案内

1. 目的及び使命

本学は、学術と文化の拠点として、高い倫理観のもと、人々が健やかに暮らせるための科学と技術に関する世界的水準での教育・研究を推進し、地域、国及び国際社会に貢献し得る人材の育成と、独創的かつ地域の特色に鑑みた教育科学研究、先端科学技術研究及び医学研究を行い、専門医療を実践することを目的としています。

2. 学部の紹介

(1) 教育学部

教育学部には、小学校、特別支援学校、幼稚園などの教員を養成する「初等教育コース」と、中学校、高等学校などの教員を養成する「中等教育コース」の2つのコースがあります。

初等教育コースでは、教科の専門性を横断的、体系的に身につけ、幼児・児童の成長や学習に対する専門的理解を深め、地域と連携できる能力を備えた小学校教員、特別支援学校教員の養成を行います。

また、中等教育コースでは、青年期の特徴を理解し、生徒の知的好奇心や自己実現に応えるための高い専門知識を持ち、主体的で協働的な学習を構想し実践することのできる教科指導力を身につけた中学校、高等学校教員の養成を行います。

○学位及び教員免許状

教育学部学校教育課程の卒業者は学士（教育学）の学位が授与されます。なお、学校教育課程で取得可能な教員免許状は次のとおりです。

コース	サブコース	小学校		特別支援学校		中学校			高等学校		幼稚園教諭	
		1種	2種	1種	2種	1種	2種	免許教科	1種	免許教科	1種	2種
初等教育	小学校教育	◎		○	○	○*	○*	国語, 英語, 社会, 数学, 理科, 技術, 家庭, 音楽, 美術, 保健体育, 保健	○*	国語, 書道, 英語, 地理歴史, 公民,	○	○
	特別支援教育	◎		◎	○	○*	○*		○*	数学, 理科, 工業, 家庭, 音楽, 美術, 工芸,	○	○
中等教育	人文社会教育	○	○	○	○	◎	○*		○*	数学, 理科, 工業, 家庭, 音楽, 美術, 工芸,		
	理数・生活教	○	○	○	○	◎	○*		○*	音楽, 美術, 工芸,		
	芸術・スポーツ教育	○	○	○	○	◎	○*		○*	保健体育, 保健		

◎ 卒業要件となっている免許

○ 必要単位を修得することで、当該免許状を取得できます。

○*免許教科に係る必要単位を修得することで、当該免許状を取得できます。

※ただし、所属するサブコースによって取得できる免許状の種類・教科の数には制限があります。

(2) 医学部

医学部は、医の倫理に徹した、人格高潔な、信頼し得る臨床医及び医学研究者を育成することを目的とし、多くの優れた人材を送り出すとともに、医学の進展に貢献しています。

また、平成9年4月には、この基盤の上に、近年の保健医療に対する社会の要請に応えるため、医学部看護学科も設置されました。

医学部は、九頭竜川河畔の広大な敷地に最新の施設と設備を整え、医学及び看護学の教育・研究・診療において、特色のある学部を建設していこうと意欲に満ちています。志望する学問に対して強い憧憬を懐き、その勉学に情熱を持ち、また、医学部の新しい学風づくりに努力を惜しまないような入学者を期待しています。

① 医学科

ア. 教育目的

人間形成を基盤に、生命尊重を第一義とした医の倫理を体得させ、高度に発展した医学知識を修得した信頼し得る臨床医及び医学研究者を育成し、もって医学の進展並びに地域医療の向上に寄与することを医学科の教育目的としています。

イ. 取得可能資格等

6年間の課程を卒業すると学士（医学）の学位が授与され、卒業後、国家試験に合格することによって医師の免許が得られます。

ウ. 共用試験（CBT^{*1}・OSCE^{*2}）

4年次に、全国共通の『共用試験』が実施されます。本試験は5年次以降の『診療参加型臨床実習』に必要な能力を有しているかどうか評価するもので本学では全員が受験します。本試験は、コンピューターで知識の理解度を問うCBT^{*1}、態度・基本的臨床技能を医療面接・身体診察により問うOSCE^{*2}からなります。なお、この共用試験には受験料が必要となります。

※1 CBT=Computer Based Testing 知識・問題解決能力の客観的評価試験

※2 OSCE=Objective Structured Clinical Examination 客観的臨床能力試験

エ. 卒後臨床研修

医師国家試験の合格者は、医師免許を取得した後、2年間の卒後臨床研修が必要です。

② 看護学科

ア. 教育目的

人間の理解を深め、多様化する社会のニーズに応じて専門的な看護を提供し、将来にわたって自己の資質を向上させるための基礎的能力を養うことを教育目的としています。

イ. 取得可能資格等

卒業時には、学士（看護学）の学位が授与されるとともに、看護師の国家試験受験資格、さらに必要な単位を修得した場合は、保健師と助産師の国家試験受験資格を得ることができます。

また、本学の指定する科目を履修し、保健師免許を取得した場合は、養護教諭二種免許を申請することもできます。

（注）保健師の課程については選択制としますが、希望者は原則全員受講できます。助産師の課程については、履修上若干名に限られており、3年次に選考します。

ウ. 卒業後の進路

卒業後は、看護師、保健師又は助産師として、医療施設、保健施設、行政機関、企業、学校などの場で活躍するのみならず、教育、研究など幅広い分野での活躍が期待されます。

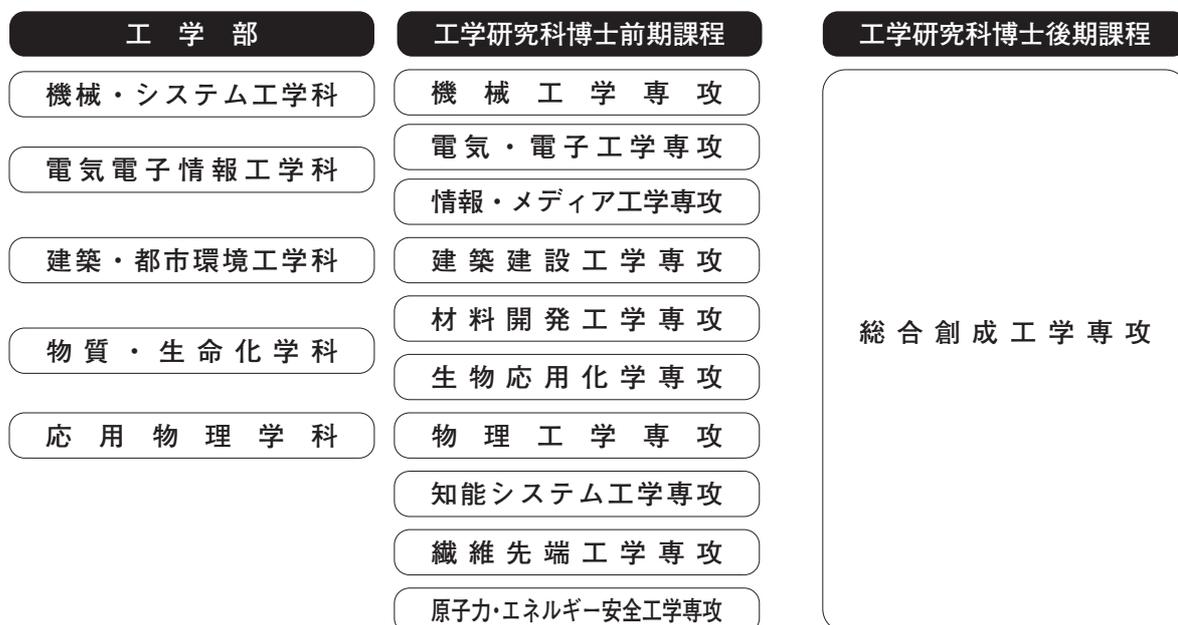
また、大学院に進んで、看護の専門領域の実践能力、研究能力を高め、将来看護の教育、研究、管理、実践の専門家として発展していくことが期待されます。

(3) 工学部

福井大学工学部は、平成28年度に改組を行い、5学科体制で新たなスタートを切ります。福井大学工学部は、前身の福井高等工業学校から数えて90年を超える歴史を有し、日本有数の大規模な工学教育研究機関です。工学の殆どの分野を網羅し、日々進化する工学にすばやく対応して、皆さんのどのような期待にも応えることができます。学部学生定員は525名、3年次編入学生定員40名の合計565名です。学生の50%以上が進学する大学院工学研究科は、博士前期課程10専攻、博士後期課程1専攻からなり、ここでは、さらに高度な世界水準の教育研究が行われています。全国各地から集まった学生の総数は、現在約3,200名に達し、同じキャンパスで、学科・専攻や学年を超え、お互いに切磋琢磨しながら楽しい

大学生活を送っています。

福井大学工学部・大学院工学研究科の理念は、Global IMAGINEERの育成、つまり、世界的な視野で（Global）こころに夢を描き（IMAGINE）、それをかたちにできる技術者（ENGINEER）として社会に貢献する研究開発能力を備えた高度専門技術者を育成することです。夢を形にするためには、最先端の専門的な知識や技術を習得するだけでなく、常に自らを批判的に省み、自分の能力を高め、創造力を育む必要があります。さらに、社会に貢献するためには、広い教養を身につけ、多くの人と関わる積極性とコミュニケーション能力を磨かねばなりません。そのために工学部には様々な教育プログラムが組まれています。例えば、専攻した学科以外の学科の専門科目を自由に履修することも可能です。特に系統的に履修した場合には、その分野を副専攻としたことを認定します。また、工学部先端科学技術育成センターでは最新の設備を整え、学生が学科や学年を超えてグループを構成し、創造的・学際的なモノづくりや調査・研究プロジェクトに取り組むことを支援しています。このような本学部の教育は、大学外の専門家による評価も高く、文部科学省が全国の大学から優れた教育を選ぶ「特色ある大学教育支援プログラム」や「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」にも採択されています。



※ 大学院工学研究科は現状の専攻となっています。平成28年度の工学部改組に伴い、今後、新学科に対応した専攻に再編されることがあります。

○学位及び教員免許状

工学部の卒業者は学士（工学）の学位が授与されます。また、所定の単位を修得すれば次の教員免許状を取得できます。

学 科 名	高等学校1種
機械・システム工学科	工業
電気電子情報工学科	工業
建築・都市環境工学科	工業
物質・生命化学科	理科
応用物理学科	理科

(4) 国際地域学部

少子高齢化やコミュニティの危機等の進行は、地域の中で深刻な課題となっています。

また、経済のグローバル化は地域にも浸透し、企業のグローバルな展開が進むとともに、地方経済の活性化は急務の課題となっています。

今日のグローバル化された社会の抱える課題の多くは、地域・国内・国際という異なるレベルに共通するものであり、それぞれにおいて相互に関わりながら分かちがたく展開しているという性格を持っています。

本学部では、地域の抱える諸課題を、構造的・重層的に捉え、地域が最も必要とする課題の解決とそれを担う人材育成を、国際水準の教育で実現します。

○学位

国際地域学部の卒業者は学士（国際地域）の学位が授与されます。なお、教員免許状は取得できません。

3. 入学時の諸経費

(1) 入学料・授業料

① 入学料免除・徴収猶予

種 別	金 額	備 考
入 学 料	282,000円（予定額）	入学時1回限り
授 業 料	年額 535,800円 （予定額）	年2回（前期4月，後期10月）に分けて納入してください。また、申し出により前期分を納入の際に後期分（前期分と同額）も一括して納入することができます。なお、在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者（学資負担者）が死亡若しくは失職（定年退職，自己都合退職を除く）した，又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合，入学料の納付が著しく困難であると認められる者に対しては，本人からの申請により選考のうえその全額又は半額を免除することがあります。

また，経済的理由により入学料の納付が困難であり，かつ学業優秀と認められる者に対しては，本人からの申請により選考のうえ，入学料の徴収を猶予することがあります。

② 授業料免除

経済的理由により授業料の納付が困難であり，かつ，学業優秀と認められる者，又は入学前1年以内において，本人の学資を主として負担している者（学資負担者）が死亡若しくは失職（定年退職，自己都合退職を除く）した，又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより，授業料の納付が著しく困難であると認められる者に対しては，本人からの申請により選考のうえその全額又は半額を免除することがあります。

(2) 保 険

① 学生教育研究災害傷害保険

本学では，正課及び課外活動等における不慮の災害事故による学生の傷害に対する救済措置として，（財）日本国際教育支援協会が行うこの保険に加入することを原則としています。

保険料は，入学時に4か年分として2,650円（医学部医学科は6年分として4,700円）を一括納入することになっています。

また，併せて実習中，実験中，ボランティア活動中等に生じる事故への対応として賠償責任保険へ

の加入も推奨しています。

② 学研災付帯学生生活総合保険制度又は医学生総合補償制度 ※医学部のみ

日常生活（24時間補償）での負傷はもとより、他人に対する賠償責任や臨床実習中における偶発的な事故等（針刺し事故等）万一の時に備えるものです。本学では、加入していない者は臨床実習を認めません。何らかの保険に加入してください。

4. 学生生活

(1) 奨学金制度

大学・大学院に在学する学生で、人物・学業ともに優秀かつ健康であり、経済的理由により修学が困難と認められる者に対しては、独立行政法人日本学生支援機構や都道府県・市町村等の地方公共団体、公益法人又は育英会等の奨学制度があります。

○ 独立行政法人 日本学生支援機構の奨学金

「第一種奨学金（無利子）」と「第二種奨学金（有利子）」があり、経済状況や学業成績をもとに採用者を決定します。「第一種奨学金」に比べて「第二種奨学金」は採用条件が緩和されています。

なお、日本学生支援機構が定める学業成績・収入基準を満たす場合には、「第一種奨学金」及び「第二種奨学金」の併用貸与を受けることもできます。

日本学生支援機構奨学金は貸与型の奨学金なので、卒業又は退学後は、必ず返還しなければなりません。

種類及び貸与月額

<学部学生>

奨学金の種類	貸与月額	備 考
第一種奨学金	自宅通学者 45,000円 自宅外通学者 51,000円, 又は、30,000円のいずれかを選択	無利子
第二種奨学金	希望する月額を次の中から選択 30,000円, 50,000円, 80,000円, 100,000円, 120,000円	有利子（在学期間中は無利子） 利率は固定型、又は見直し型より選択

○ 大学独自奨学金

◆福井大学学生修学支援奨学金

授業料免除申請者で、審査の結果半額免除となった学生のうち、経済的に困窮度の高い順に選定し、10万円が給付されます。なお、この奨学金は給付型の奨学金で、返還の必要はありません。（対象者に、大学院学生も含む）

◆福井大学生協奨学金

福井大学生生活協同組合からの寄附金による奨学制度です。授業料免除申請者で、審査の結果半額免除となった学生のうち、経済的に困窮度の高い順に選定し、10万円が給付されます。なお、この奨学金は給付型の奨学金で、返還の必要はありません。

○ 都道府県・公益法人等の奨学金

これらの奨学金については、奨学生の募集がある場合に学内掲示板で案内しますので、申請を希望

する学生は、奨学金窓口にお問い合わせください。

※奨学金制度等を利用する際に、入学試験の成績や出身学校長から提出された調査書を必要とする場合には、各奨学団体等へこれらの情報を提示する場合があります。

(2) 課外活動

正規の教育課程のほかに、学生が豊かな情操を養い、体力を鍛え、将来社会において役立つ経験を積むため、教育の一環としてクラブ活動を認め、かつ、奨励しています。

(3) 健康診断

健康管理のため、文京キャンパスに保健管理センターが、松岡キャンパスに保健センターがあり、健康について医師等の診断や相談を受けることができます。

また、学生の定期健康診断は、春期に行っています。

(4) 相談窓口

履修、生活、就職、人間関係など学生生活の中でのいろいろな問題について、相談に応ずる体制が整っています。

(5) 学生宿舎

本学には、次のような学生宿舎があります（外国人留学生との混在で、男女は階別）。

11月上旬に大学のホームページに入居者募集要項を掲載しますので、入居希望者は内容をよく確認し、入居申請準備をしてください。

名 称	定 員	新入生入居 募集人員	構 造	室定員	寄宿料	光熱水料等	所在地
国際交流 学生宿舎	209人	約30人	鉄筋コンクリート 5階建…1棟 4階建…2棟	1人	月額 4,700円	月額 約10,000円	〒910-0017 福井市文京5-13-10 (文京キャンパス から徒歩約8分)

※ 松岡キャンパスには、学生宿舎がありません。本宿舎から松岡キャンパスへは交通機関利用で約50分かかります。

(6) その他

よりよい学生生活を送るために食堂、売店などの福利厚生施設があります。また、下宿・アパート等の紹介は、福井大学生生活協同組合で行っています。

詳細は、福井大学生生活協同組合（電話0776-21-2956）にお問い合わせください。

〈参考資料〉平成27年度 福井大学入学者状況

【教育地域科学部】

課程	コース	入学定員	募集区分・人員		志願者	1次選考合格者	受験者	合格者	当初入学 手続者	手続後 辞退者	追加 合格者	入学者		
学 校 教 育 課 程	言語教育コース	20	前期日程	10	21(15)	—(—)	17(12)	11(8)	11(8)	0(0)	0(0)	11(8)		
			後期日程	6	39(23)	—(—)	13(9)	6(4)	4(3)	0(0)	0(0)	4(3)		
			推薦Ⅱ	4	11(8)	—(—)	11(8)	4(3)	4(3)	0(0)	0(0)	4(3)		
			私費留学	若干名	0(0)	—(—)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
		小計		71(46)	—(—)	41(29)	21(15)	19(14)	0(0)	0(0)	0(0)	19(14)		
	理数教育コース	20	前期日程	14	25(5)	—(—)	20(4)	15(4)	15(4)	1(1)	0(0)	0(0)	14(3)	
			推薦Ⅱ	6	13(2)	—(—)	13(2)	6(1)	6(1)	0(0)	0(0)	0(0)	6(1)	
			私費留学	若干名	0(0)	—(—)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
			小計		38(7)	—(—)	33(6)	21(5)	21(5)	1(1)	0(0)	0(0)	20(4)	
	芸術・保健体育教育コース	音楽教育サブコース	5	前期日程	3	8(8)	—(—)	7(7)	4(4)	4(4)	0(0)	0(0)	4(4)	
				推薦Ⅰ	2	7(7)	—(—)	7(7)	2(2)	2(2)	0(0)	0(0)	2(2)	
				私費留学	若干名	0(0)	—(—)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
				小計		15(15)	—(—)	14(14)	6(6)	6(6)	0(0)	0(0)	0(0)	6(6)
		美術教育サブコース	5	前期日程	3	2(2)	—(—)	2(2)	2(2)	2(2)	0(0)	0(0)	0(0)	2(2)
				A O I	2	6(6)	6(6)	6(6)	3(3)	3(3)	0(0)	0(0)	0(0)	3(3)
				私費留学	若干名	0(0)	—(—)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
				小計		8(8)	6(6)	8(8)	5(5)	5(5)	0(0)	0(0)	0(0)	5(5)
		保健体育サブコース	5	前期日程	3	36(11)	—(—)	33(10)	4(1)	4(1)	0(0)	0(0)	0(0)	4(1)
				推薦Ⅰ	2	13(6)	—(—)	13(6)	2(1)	2(1)	0(0)	0(0)	0(0)	2(1)
	私費留学			若干名	0(0)	—(—)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
	小計				49(17)	—(—)	46(16)	6(2)	6(2)	0(0)	0(0)	0(0)	6(2)	
	生活科学教育コース ※推薦Ⅰ：技術科教育サブコース ※推薦Ⅱ：家庭科教育サブコース	10	前期日程	4	12(12)	—(—)	9(9)	5(5)	5(5)	0(0)	0(0)	0(0)	5(5)	
			後期日程	2	25(23)	—(—)	10(9)	2(2)	2(2)	0(0)	0(0)	0(0)	2(2)	
			推薦Ⅰ	2	7(2)	—(—)	7(2)	2(1)	2(1)	0(0)	0(0)	0(0)	2(1)	
			推薦Ⅱ	2	5(5)	—(—)	5(5)	2(2)	2(2)	0(0)	0(0)	0(0)	2(2)	
			私費留学	若干名	1(1)	—(—)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
			小計		50(43)	—(—)	32(26)	11(10)	11(10)	0(0)	0(0)	0(0)	11(10)	
社会系教育コース	10	前期日程	6	17(6)	—(—)	13(5)	7(4)	6(4)	0(0)	0(0)	0(0)	6(4)		
		後期日程	2	14(5)	—(—)	5(0)	3(0)	3(0)	0(0)	0(0)	0(0)	3(0)		
		推薦Ⅱ	2	7(4)	—(—)	7(4)	2(1)	2(1)	0(0)	0(0)	0(0)	2(1)		
		私費留学	若干名	0(0)	—(—)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)		
		小計		38(15)	—(—)	25(9)	12(5)	11(5)	0(0)	0(0)	0(0)	11(5)		
教育実践科学コース	7	前期日程	2	7(7)	—(—)	5(5)	2(2)	2(2)	0(0)	0(0)	0(0)	2(2)		
		後期日程	2	10(7)	—(—)	4(2)	3(2)	3(2)	0(0)	0(0)	0(0)	3(2)		
		推薦Ⅱ	3	7(4)	—(—)	7(4)	3(2)	3(2)	0(0)	0(0)	0(0)	3(2)		
		私費留学	若干名	0(0)	—(—)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)		
		小計		24(18)	—(—)	16(11)	8(6)	8(6)	0(0)	0(0)	0(0)	8(6)		
臨床教育科学コース	8	前期日程	3	20(15)	—(—)	19(14)	4(4)	3(3)	0(0)	0(0)	0(0)	3(3)		
		後期日程	2	26(10)	—(—)	17(8)	3(2)	3(2)	0(0)	0(0)	0(0)	3(2)		
		A O I	3	12(7)	9(7)	9(7)	3(3)	3(3)	0(0)	0(0)	0(0)	3(3)		
		私費留学	若干名	0(0)	—(—)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)		
		小計		58(32)	9(7)	45(29)	10(9)	9(8)	0(0)	0(0)	0(0)	9(8)		
障害児教育コース	10	前期日程	3	9(6)	—(—)	9(6)	4(3)	4(3)	0(0)	0(0)	0(0)	4(3)		
		後期日程	3	35(25)	—(—)	21(15)	3(2)	3(2)	0(0)	0(0)	0(0)	3(2)		
		A O I	4	9(6)	5(4)	5(4)	4(2)	4(2)	0(0)	0(0)	0(0)	4(2)		
		私費留学	若干名	0(0)	—(—)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)		
		小計		53(37)	5(4)	35(25)	11(7)	11(7)	0(0)	0(0)	0(0)	11(7)		
地域科学課程	60	前期日程	35	87(52)	—(—)	75(42)	39(25)	38(25)	0(0)	0(0)	0(0)	38(25)		
		後期日程	15	199(88)	—(—)	96(39)	16(6)	12(4)	0(0)	0(0)	0(0)	12(4)		
		推薦Ⅱ	10	23(16)	—(—)	23(16)	10(8)	10(8)	0(0)	0(0)	0(0)	10(8)		
		私費留学	若干名	0(0)	—(—)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)		
	小計		309(156)	—(—)	194(97)	65(39)	60(37)	0(0)	0(0)	0(0)	60(37)			
学 部 計	160	前期日程	86	244(139)	—(—)	209(116)	97(62)	94(61)	1(1)	0(0)	0(0)	93(60)		
		後期日程	32	348(181)	—(—)	166(82)	36(18)	30(15)	0(0)	0(0)	0(0)	30(15)		
		推薦Ⅰ	6	27(15)	—(—)	27(15)	6(4)	6(4)	0(0)	0(0)	0(0)	6(4)		
		推薦Ⅱ	27	66(39)	—(—)	66(39)	27(17)	27(17)	0(0)	0(0)	0(0)	27(17)		
		A O I	9	27(19)	20(17)	20(17)	10(8)	10(8)	0(0)	0(0)	0(0)	10(8)		
		私費留学	若干名	1(1)	—(—)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)		
		合計		713(394)	20(17)	489(270)	176(109)	167(105)	1(1)	0(0)	0(0)	166(104)		

[備考] 1. 志願者及び受験者数は第1志望の数
 2. 第1次選考がある部分の受験者数は、最終選考受験者の数
 3. ()は女子で内数

【医学部】

学 科	入学定員	募集区分・人員		志願者	1次選考合格者	受験者	合格者	当初入学 手続者	手続後 辞退者	追加 合格者	入学者
医 学 科	110	前期日程	55	218(74)	218(74)	168(54)	55(13)	54(13)	1(0)	2(1)	55(14)
		後期日程	25	389(165)	250(107)	74(29)	25(7)	24(7)	0(0)	1(0)	25(7)
		推 薦 II	30	147(69)	90(41)	90(41)	30(13)	30(13)	0(0)	0(0)	30(13)
		小 計		754(308)	558(222)	332(124)	110(33)	108(33)	1(0)	3(1)	110(34)
看 護 学 科	60	前期日程	30	52(49)	—(—)	51(48)	31(28)	29(26)	0(0)	1(1)	30(27)
		後期日程	10	57(54)	—(—)	18(17)	11(10)	10(9)	0(0)	0(0)	10(9)
		推 薦 I	20	79(74)	—(—)	79(74)	22(21)	22(21)	0(0)	0(0)	22(21)
		小 計		188(177)	—(—)	148(139)	64(59)	61(56)	0(0)	1(1)	62(57)
学 部 計	170	前期日程	85	270(123)	218(74)	219(102)	86(41)	83(39)	1(0)	3(2)	85(41)
		後期日程	35	446(219)	250(107)	92(46)	36(17)	34(16)	0(0)	1(0)	35(16)
		推 薦 I	20	79(74)	—(—)	79(74)	22(21)	22(21)	0(0)	0(0)	22(21)
		推 薦 II	30	147(69)	90(41)	90(41)	30(13)	30(13)	0(0)	0(0)	30(13)
		合 計		942(485)	558(222)	480(263)	174(92)	169(89)	1(0)	4(2)	172(91)

- [備考] 1. 第1段階選抜には、第1次選考を含む
 2. 第1段階合格者数がある部分の受験者数は、2段階選抜受験者の数
 3. () は女子で内数

【工学部】

学 科	入学 定員	募集区分・人員		志願者	1次選考 合格者	受験者	合格者	当初入学 手続者	手続後 辞退者	追加 合格者	入学者
機 械 工 学 科	75	前期日程	34	80(5)	—(—)	78(5)	40(4)	39(4)	0(0)	0(0)	39(4)
		後期日程	34	311(12)	—(—)	139(6)	41(2)	38(1)	0(0)	0(0)	38(1)
		A O I	若干名	0(0)	—(—)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		A O II	7	28(0)	28(0)	28(0)	3(0)	3(0)	0(0)	0(0)	3(0)
		私費留学	若干名	1(0)	—(—)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		マレーシア政府	若干名	0(0)	—(—)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
小 計		420(17)	28(0)	246(11)	84(6)	80(5)	0(0)	0(0)	80(5)		
電 気 ・ 電 子 工 学 科	64	前期日程	29	54(2)	—(—)	50(2)	31(1)	31(1)	0(0)	0(0)	31(1)
		後期日程	22	162(9)	—(—)	43(2)	24(2)	22(2)	0(0)	0(0)	22(2)
		A O I	3	9(0)	5(0)	5(0)	4(0)	4(0)	0(0)	0(0)	4(0)
		A O II	10	10(1)	10(1)	10(1)	10(1)	10(1)	0(0)	0(0)	10(1)
		私費留学	若干名	1(0)	—(—)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		国費留学	若干名	1(0)	—(—)	1(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)
マレーシア政府	若干名	0(0)	—(—)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)		
小 計		237(12)	15(1)	110(5)	71(4)	68(4)	0(0)	0(0)	68(4)		
情 報 ・ メ デ ィ ア 工 学 科	65	前期日程	30	81(7)	—(—)	75(6)	36(1)	35(1)	0(0)	0(0)	35(1)
		後期日程	20	173(16)	—(—)	61(6)	20(2)	17(2)	0(0)	0(0)	17(2)
		A O II	15	37(5)	31(4)	31(4)	14(2)	14(2)	0(0)	0(0)	14(2)
		私費留学	若干名	1(0)	—(—)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		マレーシア政府	若干名	0(0)	—(—)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		小 計		292(28)	31(4)	167(16)	70(5)	66(5)	0(0)	0(0)	66(5)
建 築 建 設 工 学 科	65	前期日程	30	130(27)	—(—)	122(22)	37(6)	34(5)	0(0)	0(0)	34(5)
		後期日程	25	179(50)	—(—)	84(19)	28(9)	23(8)	0(0)	0(0)	23(8)
		A O I	5	9(3)	9(3)	9(3)	5(1)	5(1)	0(0)	0(0)	5(1)
		A O II	5	35(12)	35(12)	33(12)	6(4)	6(4)	0(0)	0(0)	6(4)
		私費留学	若干名	0(0)	—(—)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		マレーシア政府	若干名	1(1)	—(—)	1(1)	1(1)	1(1)	0(0)	0(0)	1(1)
小 計		354(93)	44(15)	249(57)	77(21)	69(19)	0(0)	0(0)	69(19)		
材 料 開 発 工 学 科	75	前期日程	50	118(16)	—(—)	110(14)	61(9)	59(9)	0(0)	0(0)	59(9)
		後期日程	15	163(21)	—(—)	40(7)	17(3)	16(3)	0(0)	0(0)	16(3)
		A O II	10	6(1)	6(1)	6(1)	3(1)	3(1)	0(0)	0(0)	3(1)
		私費留学	若干名	0(0)	—(—)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		マレーシア政府	若干名	1(1)	—(—)	1(1)	1(1)	1(1)	0(0)	0(0)	1(1)
		小 計		288(39)	6(1)	157(23)	82(14)	79(14)	0(0)	0(0)	79(14)
生 物 応 用 化 学 科	65	前期日程	42	76(31)	—(—)	75(31)	50(23)	44(20)	1(0)	0(0)	43(20)
		後期日程	18	65(28)	—(—)	23(12)	19(10)	16(8)	0(0)	0(0)	16(8)
		A O I	若干名	0(0)	—(—)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		A O II	5	8(2)	8(2)	8(2)	5(2)	5(2)	0(0)	0(0)	5(2)
		私費留学	若干名	4(1)	—(—)	1(1)	1(1)	1(1)	0(0)	0(0)	1(1)
		マレーシア政府	若干名	0(0)	—(—)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
小 計		153(62)	8(2)	107(46)	75(36)	66(31)	1(0)	0(0)	65(31)		
物 理 工 学 科	51	前期日程	20	32(1)	—(—)	27(1)	20(1)	19(0)	0(0)	0(0)	19(0)
		後期日程	31	224(20)	—(—)	91(10)	42(5)	36(4)	0(0)	0(0)	36(4)
		A O II	若干名	3(0)	3(0)	3(0)	2(0)	2(0)	0(0)	0(0)	2(0)
		私費留学	若干名	0(0)	—(—)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		マレーシア政府	若干名	0(0)	—(—)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		小 計		259(21)	3(0)	121(11)	64(6)	57(4)	0(0)	0(0)	57(4)
知 能 シ ス テ ム 工 学 科	65	前期日程	37	152(13)	—(—)	146(13)	45(6)	43(6)	0(0)	0(0)	43(6)
		後期日程	23	130(12)	—(—)	57(5)	28(3)	21(2)	1(0)	0(0)	20(2)
		A O I	5	10(0)	10(0)	10(0)	2(0)	2(0)	0(0)	0(0)	2(0)
		私費留学	若干名	0(0)	—(—)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		マレーシア政府	若干名	0(0)	—(—)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		小 計		292(25)	10(0)	213(18)	75(9)	66(8)	1(0)	0(0)	65(8)
学 部 計	525	前期日程	272	723(102)	—(—)	683(94)	320(51)	304(46)	1(0)	0(0)	303(46)
		後期日程	188	1407(168)	—(—)	538(67)	219(36)	189(30)	1(0)	0(0)	188(30)
		A O I	13	28(3)	24(3)	24(3)	11(1)	11(1)	0(0)	0(0)	11(1)
		A O II	52	127(21)	121(20)	119(20)	43(10)	43(10)	0(0)	0(0)	43(10)
		私費留学	若干名	7(1)	—(—)	3(1)	2(1)	1(1)	0(0)	0(0)	1(1)
		国費留学	若干名	1(0)	—(—)	1(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)
マレーシア政府	若干名	2(2)	—(—)	2(2)	2(2)	2(2)	0(0)	0(0)	2(2)		
合 計		2295(297)	145(23)	1370(187)	598(101)	551(90)	2(0)	0(0)	549(90)		

【備考】 1. 1次選考がある部分の受験者は、最終選考受験者の数
2. () は女子で内数

学 科	入学 定員	募集区分・人員		志願者	1次選考 合格者	受験者	合格者	当初入学 手続者	手続後 辞退者	追加 合格者	入学者
総 計	855	前期日程	443	1237(364)	218(74)	1111(312)	503(154)	481(146)	3(1)	3(2)	481(147)
		後期日程	255	2201(568)	—(—)	796(195)	291(71)	253(61)	1(0)	1(0)	253(61)
		推 薦 I	26	106(89)	—(—)	106(89)	28(25)	28(25)	0(0)	0(0)	28(25)
		推 薦 II	57	213(108)	90(41)	156(80)	57(30)	57(30)	0(0)	0(0)	57(30)
		A O I	22	55(22)	44(20)	44(20)	21(9)	21(9)	0(0)	0(0)	21(9)
		A O II	52	127(21)	121(20)	119(20)	43(10)	43(10)	0(0)	0(0)	43(10)
		私費留学	若干名	8(2)	—(—)	4(2)	2(1)	1(1)	0(0)	0(0)	1(1)
		国費留学	若干名	1(0)	—(—)	1(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)
		マレーシア政府	若干名	2(2)	—(—)	2(2)	2(2)	2(2)	0(0)	0(0)	2(2)
		小 計		3950(1176)	723(262)	2339(720)	948(302)	887(284)	4(1)	4(2)	887(285)

【備考】 1. 第1次選考には、第1段階選抜を含む
2. 第1段階合格者数がある部分の受験者数は、2段階選抜受験者の数
3. () は女子で内数

【平成27年度 福井大学一般入試合格者の得点状況】

(1) 前期日程

学部	課程・学科等	日程 点数	大学入試センター試験				個別学力検査				合 計				
			最高点	最低点	平均点	配 点	最高点	最低点	平均点	配 点	最高点	最低点	平均点	満 点	
教育学部	教育地域科学課程	言語教育コース	757	555	631	900	468	405	443	600	1,210	1,023	1,074	1,500	
		理数教育コース	795	594	655	900	450	285	357	600	1,245	939	1,012	1,500	
		芸術・保健体育教育コース	音楽教育サブコース	599	432	504	900	470	440	461	600	1,039	898	964	1,500
			美術教育サブコース	—	—	559	900	—	—	464	600	—	—	1,023	1,500
			保健体育サブコース	554	501	535	900	479	440	456	600	1,000	980	992	1,500
		生活科学教育コース	630	511	556	900	438	384	408	600	1,056	907	964	1,500	
		社会系教育コース	654	564	600	900	369	297	336	600	1,011	909	937	1,500	
		教育実践科学コース	—	—	582	900	—	—	428	600	—	—	1,010	1,500	
		臨床教育科学コース	581	551	561	900	471	423	447	600	1,025	982	1,008	1,500	
		障害児教育コース	577	500	542	900	414	366	391	600	961	914	933	1,500	
	地域科学課程	711	539	599	900	501	339	411	600	1,187	937	1,010	1,500		
医学部	医 学 科	844	743	781	900	506	387	447	700	1,344	1,182	1,227	1,600		
	看 護 学 科	640	497	541	800	212	120	174	250	840	663	715	1,050		
工学部	機 械 工 学 科	636	511	590	900	387	213	299	600	988	834	889	1,500		
	電 気 ・ 電 子 工 学 科	652	536	589	900	372	213	296	600	974	811	885	1,500		
	情 報 ・ メ デ ィ ア 工 学 科	693	501	582	900	432	204	280	600	1,054	782	862	1,500		
	建 築 建 設 工 学 科	627	540	585	900	498	279	366	600	1,084	899	951	1,500		
	材 料 開 発 工 学 科	641	499	570	900	477	249	340	600	1,109	834	910	1,500		
	生 物 応 用 化 学 科	653	525	582	900	471	252	353	600	1,070	850	935	1,500		
	物 理 工 学 科	648	500	569	900	399	177	272	600	976	747	841	1,500		
	知能システム工学科	726	510	564	900	564	324	412	800	1,246	897	977	1,700		

〔備考〕 1. 平均点と最低点の算出には、追加合格者を含まない。
 2. 平均点は、小数第1位を四捨五入。
 3. —は少人数のため公表しない。

(2) 後期日程

学部	課程・学科等	日程 点数	大学入試センター試験				個別学力検査				合 計			
			最高点	最低点	平均点	配 点	最高点	最低点	平均点	配 点	最高点	最低点	平均点	満 点
教育学部	教育地域科学課程	言語教育コース	723	616	649	900	380	184	243	400	1,055	825	892	1,300
		生活科学教育コース	—	—	533	900	—	—	186	400	—	—	719	1,300
		社会系教育コース	—	—	606	900	—	—	189	400	—	—	796	1,300
		教育実践科学コース	—	—	598	900	—	—	247	400	—	—	844	1,300
		臨床教育科学コース	230	187	215	300	213	174	194	300	419	397	408	600
		障害児教育コース												
	地域科学課程	511	406	456	600	240	171	204	300	728	634	660	900	
医学部	医 学 科	420	385	400	450	185	151	168	220	594	555	568	670	
	看 護 学 科	600	511	547	800	196	141	170	250	796	659	717	1,050	
工学部	機 械 工 学 科	698	586	644	900	264	174	227	300	953	839	871	1,200	
	電 気 ・ 電 子 工 学 科	723	563	622	900	270	150	208	300	955	772	830	1,200	
	情 報 ・ メ デ ィ ア 工 学 科	702	581	620	900	255	159	197	300	939	772	817	1,200	
	建 築 建 設 工 学 科	727	621	655	900	158	92	131	200	881	756	786	1,100	
	材 料 開 発 工 学 科	915	823	858	1,200	*	*	*	*	915	823	858	1,200	
	生 物 応 用 化 学 科	934	639	794	1,200	*	*	*	*	934	639	794	1,200	
	物 理 工 学 科	716	557	609	900	348	200	276	400	1,029	828	885	1,300	
	知能システム工学科	694	579	613	900	173	113	147	200	834	736	759	1,100	

〔備考〕 1. 平均点と最低点の算出には、追加合格者を含まない。
 2. 平均点は、小数第1位を四捨五入。
 3. *は大学入試センター試験得点のみを点数化。
 4. —は少人数のため公表しない。

Ⅶ 学生募集要項等の請求方法

1. テレメールによる請求方法

(1) 福井大学ホームページ（パソコン）からの請求方法

本学ホームページ（<http://www.u-fukui.ac.jp/>）「受験生の方へ」内の「入試資料の請求方法」から  テレメールにアクセスしてください。

※本学ホームページ内の「受験生の方へ」では大学の概要や入試情報等も紹介しています。

(2) テレメールホームページ（パソコン・携帯電話・スマートフォン）または自動音声応答電話による請求方法

① 下記のいずれかの方法で テレメールにアクセスしてください。

インターネット （パソコン・携帯電話・スマートフォン）	http://telemail.jp	 携帯電話・スマートフォンなら、QRコードを読み取るだけでアクセスできます。
自動音声応答電話	IP電話 050-8601-0101 （24時間受付） ※一般電話回線からの通話料金は、日本全国どこからでも3分毎に約11円です。 ※住所・氏名等の登録時は、ゆっくり・はっきりと話してください。 登録された音声の不鮮明な場合は、電話で住所・名前を確認することがありますので、電話番号は必ず登録してください。	

② 請求を希望する資料請求番号（6桁）を入力してください。

資料名	資料請求番号
一般入試学生募集要項（この冊子）	5 8 3 2 5 2
一般入試学生募集要項+大学案内	5 4 3 2 5 2
大学案内	5 6 3 2 5 2
推薦入試（教育学部）学生募集要項	5 9 7 5 1 2
推薦入試（医学部）学生募集要項	5 6 3 2 3 2
推薦入試（国際地域学部）学生募集要項	5 9 7 5 2 2
A O入試学生募集要項+A O入試案内	5 4 3 2 6 2
私費外国人留学生入試学生募集要項	5 6 3 2 4 2

③ ガイダンスに従って申し込んでください。

- ・請求してから2～3日後に資料が届きます。
- ・送料は資料に同封されている支払方法に従い、表示料金を支払ってください。（支払いに際して手数料が別途必要になります。）

- ・  テレメールでの請求についての問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター TEL 050-8601-0102（9:30～18:00）

2. 郵便局での請求方法（11月より案内開始）

一般入試学生募集要項は、近くの郵便局（普通局、特定局）でも請求することができます。

希望者は、郵便局に設置されている「国公立大学・短期大学及び通信教育課程、大学校募集要項（願書）請求申込書」（郵便局用願書請求カタログ）に必要な事項を記入のうえ、送料と払込手数料130円を添えて、最寄りの郵便局の窓口で申し込んでください。

3. 大学への請求方法（できるだけ テレメールで請求してください。）

「希望する募集要項名」を明記し，送付先（請求者）の郵便番号，住所，氏名，電話番号を書いて，本学学務部入試課へメールまたはFAXにより申し込んでください。

「ゆうメール」の着払いで送付します。

E-mail : g-nyusi@ad.u-fukui.ac.jp

FAX : 0776-27-8010

4. 窓口での請求方法

以下の本学窓口で配付します。（祝日を除く月～金曜日 9:00～17:00）

文京キャンパス：福井県福井市文京3-9-1

福井大学学務部入試課

松岡キャンパス：福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3

福井大学学務部松岡キャンパス学務室入学試験係

福井大学入学試験個人成績開示申込書

平成 年 月 日

福井大学長あて

氏 名： _____

住 所：〒 _____

電 話 番 号： _____ - _____ - _____

私が受験した，入学試験の成績開示を申込みます。

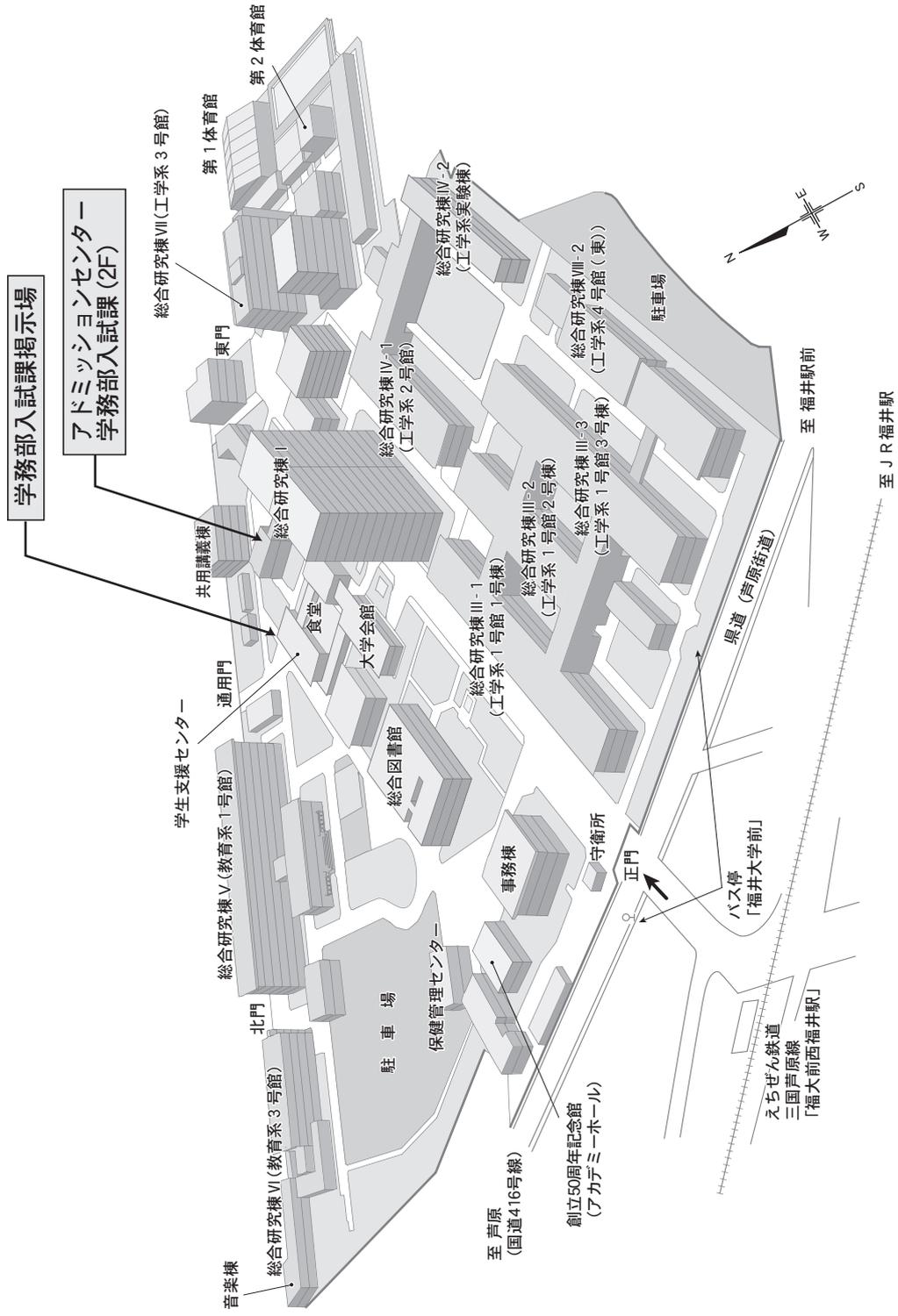
試 験 区 分	一般入試 [前期日程 ・ 後期日程]
受 験 学 部	学部
学 科 ・ 課 程	学科・課程
受 験 番 号	番

【注意事項】

- 1 本申込書は，受験者本人が自筆で記入してください。
- 2 「本申込書」，「本学受験票」（コピー不可）及び「返信用封筒」（長3形：切手512円分貼付）を申込期間内に郵送又は持参してください。

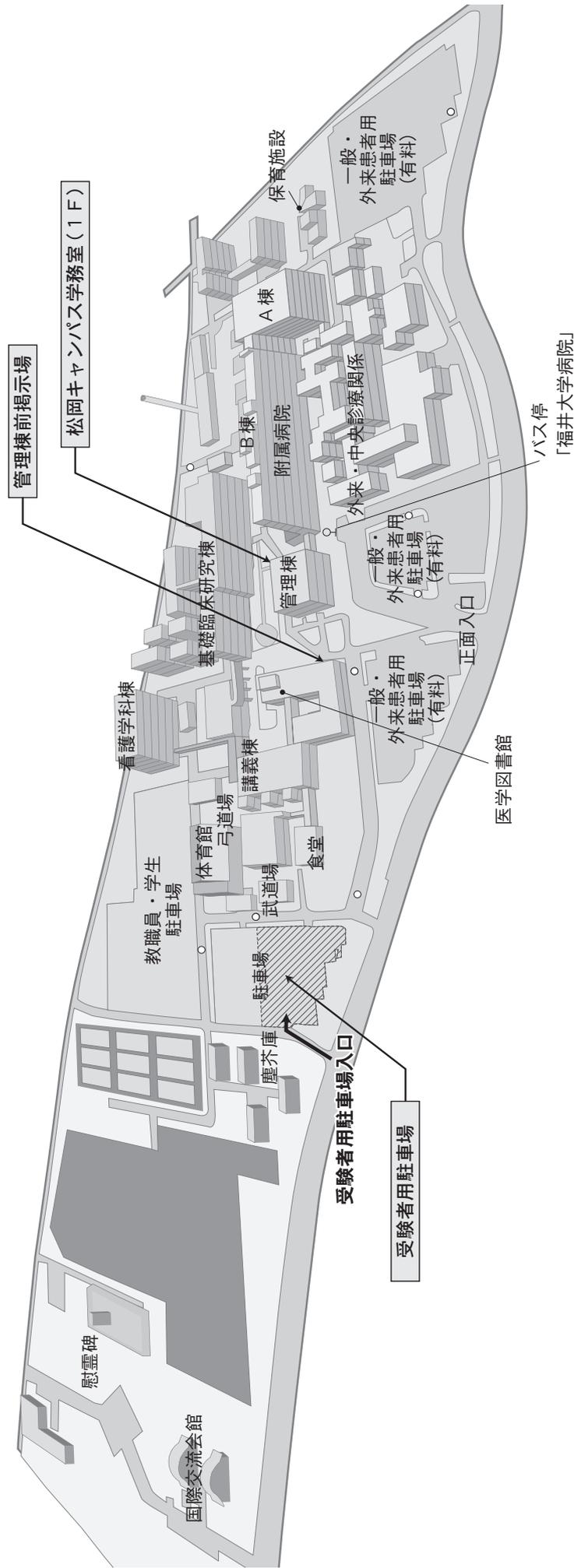
福井大学キャンパス配置図

文京キャンパス (教育学部・工学部)



福井大学キャンパス配置図

松岡キャンパス (医学部)



- ・○カーゲート設置場所
- ・試験当日、松岡キャンパス試験場への自動車での入構はご遠慮ください。
やむを得ず自動車でご入構する場合は、受験者用駐車場に駐車してください。

< 入試に関する問い合わせ先 >

福井大学

学務部入試課

文京キャンパス（教育学部・工学部・国際地域学部）

〒910-8507 福井県福井市文京3-9-1

電話 0776-27-9927

学務部松岡キャンパス学務室入学試験係

松岡キャンパス（医学部）

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3

電話 0776-61-8246

<注意>

- ・入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・この学生募集要項以外に重要な通知がある場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」のページでお知らせします。

【福井大学ホームページ <http://www.u-fukui.ac.jp/>】

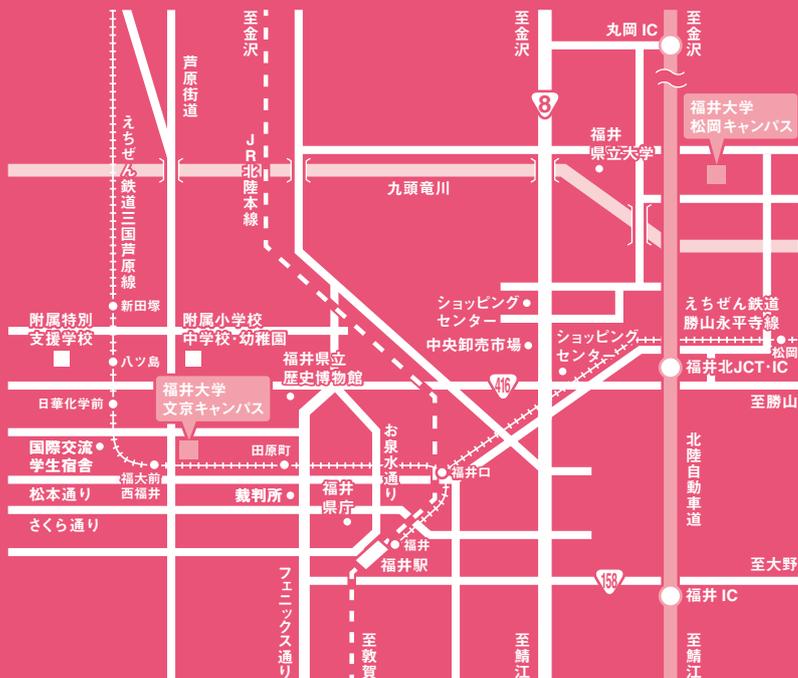
- ・福井大学 携帯電話サイト
本学の学生募集要項等資料請求方法、一般入試出願状況速報などの各種情報を携帯電話で閲覧できます。

【携帯電話サイト <http://daigaku.jp/u-fukui/>】

- ・電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9:00～17:00に、この学生募集要項を手元に置き、必ず志願者本人が行ってください。



福井大学位置図



■ 文京キャンパス [教育学部・工学部] への経路

- バス** JR福井駅 - (約10分) - 福井大学前下車
[JR福井駅西口から出て市内バス乗り場10番から]
<http://bus.keifuku.co.jp/>
- 鉄道** えちぜん鉄道福井駅 - 福大前西福井駅下車
[JR福井駅東口から出て三国芦原線で約10分]
※西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
<http://www.echizen-tetudo.co.jp/>
- タクシー** JR福井駅 - (約10分) - 福井大学文京下車
[必ず「福井大学文京キャンパス」と伝えてください]
- 北陸自動車道** 福井北JCT・ICから国道416号線で西へ約7km
福井ICから国道158号線で西へ約8km

■ 松岡キャンパス [医学部] への経路

- バス** JR福井駅 - (約35分) - 福井大学病院下車
[JR福井駅西口から出て市内バス乗り場11番から]
- 鉄道** えちぜん鉄道福井駅 - 松岡下車、バスに乗り換え約5分
[JR福井駅東口から出て勝山永平寺線で約20分+バス]
※西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- タクシー** JR福井駅 - (約30分) - 福井大学松岡下車
[必ず「福井大学松岡キャンパス」と伝えてください]
- 北陸自動車道** 福井北JCT・ICから北へ約4km。又は丸岡ICから南へ約5km
※標識・バス停の福井大学病院は「福井大学医学部」位置を指します。

福井へのアクセス

■ 大阪・京都方面から

- J R** 大阪・京都 - (湖西線経由) - 福井 (特急で京都から約1時間30分、大阪から約2時間)
- 自家用車** 大阪・京都 - (名神) - 米原JCT - (北陸) - 福井・福井北JCT・IC (京都から約2時間、大阪から約2時間30分)
- 高速バス** 大阪・京都 - (名神・北陸) - 福井 (京都から約2時間30分、大阪から約3時間30分)

■ 名古屋・静岡方面から

- J R** 名古屋・静岡 - (米原線) - 福井 (名古屋から新幹線・特急で約1時間40分、特急で約2時間)
- 自家用車** 名古屋 - (名神) - 米原JCT - (北陸) - 福井・福井北JCT・IC (約2時間)
- 高速バス** 名古屋 - (名神・北陸) - 福井 (約2時間50分)

■ 東京方面から

- 飛行機** 東京羽田 - 小松空港 (1時間) - 福井 (連絡バス1時間)
- J R** 東京 - (米原線) - 福井 (新幹線・特急3時間30分)
- 自家用車** 東京 - (東名・名神) - 米原JCT - (北陸) - 福井・福井北JCT・IC ※高速バスもあります。(約6時間30分)

■ 金沢・新潟方面から

- J R** 金沢・新潟 - 福井 (金沢から特急で約40分)
- 自家用車** 金沢 - (北陸) - 丸岡・福井IC (約1時間)

